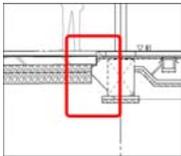


件名：東京国際空港新貴賓室新築工事

平成30年9月20日

東空建第 64 号

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
		【新貴賓室棟】	
		(構造)	
1	-	地盤調査(ボーリング)費は別途と考えて宜しいでしょうか。	地盤調査は実施済みであり、本工事において不要である。
2	-	コンクリートについて、計画供用期間の級を御指示下さい。	標準としてください。
3	S-055	PC底、強度について、FC27と考えて宜しいでしょうか。 また、PC割付図を御指示下さい。	PC底はFc21 S18としてください。 追加補足図S-082を参照してください。
4	A-020	コンクリート立上り配筋要領について、D10@200好ヨコシングル、天端・コーナーD13と考えて宜しいでしょうか。	別紙S①を参照してください。
5	S-032~043	ハットレスについて、補強要領を御指示下さい。	別紙S②を参照してください。
6	A-024	土間受けについて、補強要領を御指示下さい。 	別紙S③を参照してください。
7	S-063・064	梁貫通補強種別について、G1B'の指示がありません。G1B同程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
8	S-010・063	梁貫通補強について、MH型と有りますが、数量公開資料よりH型と考えて宜しいでしょうか。 また、MH型の場合、補強リストを御指示下さい。	H型としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
9	S-053	鉄筋スタッドについて、壁の縦筋と同径と有りますが、数量公開資料より同径かつD13以上と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
10	S-009・053	鉄筋スタッドについて、構造関係共通事項と壁リスト共通事項で相違しています。壁～柱(梁)が中心で取り合う場合のみ必要と考えて宜しいでしょうか。	S-009の差筋が鉄骨に干渉して配筋できない場合に鉄筋スタッドを用いることとしてください。
11	S-013	1階床H790のスラブ段差補強について、 $150 < H \leq 300$ に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
12	S-006・014	スラブパーサポートについて、下記の様に相違しています、構造関係共通事項を正と考えて宜しいでしょうか。 ・構造関係共通事項:指示無し ・鉄筋コンクリート造配筋規準図:指示有り また、鉄筋コンクリート造配筋規準図が正の場合、PC庇現場配筋にも必要でしょうか。御指示下さい。	鉄筋コンクリート造配筋規準図を正としてください。 また、PC庇現場配筋にも適用してください。
13	S-027・037 A-025	B1階+2600伏図、X0通り梁について、下記の様に相違しています。B1階+2600伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・B1階+2600伏図:指示無し ・矩計図2:指示有りW400×H800 また、矩計図2が正の場合、配筋要領を御指示下さい。	構造図を正としてください。
14	S-025 A-020・025	地下ピットについて、ピット伏図と地下・ピット階平面図・矩計図2で相違しています。ピット伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 また、地下ピット階平面図・矩計図2が正の場合、小梁リストを御指示下さい。	構造図を正としてください。また、連通管・通気管については別紙S④を参照してください。質疑にはありませんがS-027についても別紙S④を参照してください。
15	S-049	柱リストにおいて、C13の1FL主筋の本数が下記の用に相違しています。 ・断面…12本 ・リスト…14本 リストを正とし、14-D25と考えて宜しいでしょうか。	リストを正としてください。
16	S-050	大梁リストにおいて、G22,G32の腹筋の本数が下記の用に相違しています。 ・断面…0本 ・リスト…2本 リストを正とし、2-D10と考えて宜しいでしょうか。	リストを正としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
17	S-049・052	C13柱(BH-400X200X12X32)の継手リストを御指示下さい。	以下の継手としてください。 フランジ:HTB 10-M20,PL-16x200x650,2PL-16x80x650(SN490B) ウェブ:HTB 8-M20,2PL-12x260x290(SN490B)
18	S-029・036	1FL+4100伏図Y9通り(X12-13間)梁符号が伏図ではSB60Hですが軸組図ではSG6と相違しています。SG6を正と考えて宜しいでしょうか。	SG6を正としてください。
19	S-050	横補剛材の取付範囲について取り付く大梁成の1/2以下の小梁を対象と考えて宜しいでしょうか。	S-060によるものとしてください。
20	S-011	仮組について行うとなっておりますが該当範囲を御指示下さい。	組柱部分としてください。
21	S-015	十字型柱の仕口について梁通しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
22	S-019・048	C1柱サイズが下記のように相違しています。 ・組柱鉄骨規準図:FB-36X200 ・柱リスト1:FB-36X175 組柱鉄骨規準図を正と考えて宜しいでしょうか。	組柱鉄骨規準図を正としてください。
23	S-029	1FL+4100伏図X7/Y3通り交点他、SG12とSG12Bが平行方向に接続していますが収まり詳細を御指示下さい。	別紙S⑤を参照してください。
24	S-060	特記無き限り鋼材は全て溶融亜鉛めっきと記載がありますが屋外露出面以外の鋼材は錆止塗装と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
25	S-063・064	SRCスリーブ補強G11Cのφ150の補強方法は2xPL-16と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
26	S-031・064	SRC梁ブラケット範囲のスリーブ補強詳細を御指示下さい。	G1Aと同様としてください。
27	A-027・S-062	螺旋階段床プレート厚が下記のように相違しています。 ・構造図:PL-9 ・意匠図:PL-4.5 構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
28	S-030 A-024~026	矩計図1~3のR階屋根全面に嵩上鉄骨が記載されていますが、構造図床天端レベルでは部分的に嵩上鉄骨が必要となります。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	S-060 スラブと鉄骨の取り合い詳細図を参照してください。
29	S-002	吹付耐火被覆面に錆止塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
30	S-002	錆止塗装の塗り回数は、工場2回塗りと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
		(外部)	
31	A-117・408	上屋軒天井について下記の様に相違しています。 ・上屋天井伏図:凡例D アルミカットパネル(アルミリブ付) ・軒天詳細図:アルミカットパネル(リブなし) リブなしと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
32	A-118・408	下屋軒天井 リブについて下記の様に相違しています。 ・下屋天井伏図:凡例D アルミリブ ・軒天詳細図:ステンスリブ ステンスリブと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
33	A-015・301・ S-002	コンクリート打放仕上について、特記仕様書 構造関係(その2)に地下1階床より上部はA種と指示がありますが、A種となるのは塗装下地のみとし、それ以外(塗膜防水下地、塗床下地等)はB種と考えて宜しいでしょうか。	外部及び内部、擁壁等については以下とします。 A種:塗装下地、屋外WC内壁(図示) B種:塗膜防水・塗布防水下地、塗床下地、左官下地、消火ポンプ室・空調機械室壁、設備基礎立上り、設備ピット階段立上り C種:石張り下地、電気室壁、水槽天井素地部、設備ピット壁、化粧室ピット壁・天井
34	A-002・015	地下外壁防水について下記の様に相違しています。 ・特記仕様書(2):塗膜防水 Y-1 ・仕上表 材料表:ポリマーセメント系塗膜防水 パラテックスB-2工法(大関化学工業)同等 仕上表 材料表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
35	A-002・104・ 701	建物南側出入口 床仕上 花崗岩 は花崗岩(3)と考えて宜しいでしょうか。	当該「通用口」部の床仕上げは花崗岩(3)とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
36	A-015・101・301	1F X0～1間 室外機置場 床押えコンクリート面の仕上は塗床(3)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
37	A-015・101・704	1F X0～1間 室外機置場 排水溝、排水桝は防水モルタル金罫と考えて宜しいでしょうか。	排水溝はA-704の通り塗床(3)とします。桝はA-804の集水桝34を正とします。 桝の仕上げは 桝天端・底・桝底:C+T 桝立上り:C打放(B種) とします。
38	A-020	B1F機器搬入スペース 排水溝、排水桝について下記と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上…防水モルタル金罫 ・桝寸法…600×600×H600	排水溝は塗床(3)とします。桝は底:C+T、立上:C打放(B種) 深さH=100とします。
39	A-301	配管取出口 コンクリートブロックはA種と考えて宜しいでしょうか。	A種(空洞ブロック08)とします。
40	-	下記項目について、メーカー品番を御指示下さい。 ・上屋、下屋:段付ハゼ定尺工法横葺き ・1F室外機置場:排水桝用ステンスグレーチング 600角 ・B1F機器搬入スペース:排水桝用ステンスグレーチング 500角 ・外壁:アルミキャストパネル ・鎖樋 ・外壁:左官(2)白漆喰	メーカー品番指定はなく、図示の通りとします。 左官(2)白漆喰は追加補足図A-008を参照してください。
		(内部)	
41	A-016・103	MWC4・WWC4内間仕切について、平面詳細図では洗面台横袖壁等W24の両面ボード張遮音間仕切が二重で指示されています。内側のボードは施工不可の様に思われますが、指示通りと考えて宜しいでしょうか。 別の符号に読み替える場合は符号を御指示下さい。	追加補足図A-103、104を参照してください。遮音区画確保のため、W21-1、W24-1を通す納まりとします。
42	A-116・305・408	玄関天井アルミカットパネルについて、天井伏図ではアルミリブ付と指示がありますが、軒天詳細図よりステンスリブを適用と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
43	A-116・303・408	ホール底アルミカットパネルについて、天井伏図ではアルミリブ付ですが、部分詳細図等にリブ付の指示はありません。 軒天詳細図よりステンスリブを適用と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
44	A-118-304	貴賓室1床の間上部下がり壁の仕上が下記の様に相違しています。 ・展開図1:緞子張り ・部分詳細図3:織物クロス 周囲壁仕上と同様緞子張と考えて宜しいでしょうか。	緞子張り(1)とします。
45	A-015-025	貴賓室1～3廻縁について、仕上表に指示がありませんが、矩計図2に「廻縁:木」と指示があります。必要な場合は樹種・寸法、仕上を御指示下さい。	矩計図の記載は誤記であり、廻縁は不要です。
46	A016-101～ 109-113	前室1～3壁面ニッチ詳細図で壁ポード厚がt9.5+12.5の図示ですが、各平面詳細図の壁符号よりt12.5+12.5又はt15+15に読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
47	A-015-114	前室1～3天井仕上が下記の様に相違しています。 ・仕上表:EP ・水廻り詳細図10:AEP 仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
48	A-110	水廻り詳細図6<壁面詳細図1>の壁大理石下地のt8.0のものはケイカル板と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
49	A-104-129-301	WC5のライニング壁は雑詳細図1<D-0122>を適用と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
50	A-129	WC5の間接照明の詳細が不明です。下記の様に考えて宜しいでしょうか。 ①折上天井内の天井・下り壁仕上はGB-Rt12.5+12.5+EPと考えて宜しいでしょうか。 ②間接照明跳ね出し部はW150、LGS下地、天端GB-Rt12.5素地と考えて宜しいでしょうか。 ③跳ね出し端部見切り縁の仕様・寸法等詳細を御指示下さい。	追加補足図A-301を参照してください。H寸法は追加補足図を正とします。
51	A-208	消火器スペース内壁ポードはPBt12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。	W-115部はW01-1、W-116,117部はW21-1に従います。
52	A-102-208	X7-10/Y4の消火器置場の仕上は建具詳細図4の消火器スペースに倣って宜しいでしょうか。	A-301、D-0120にならうこととします。

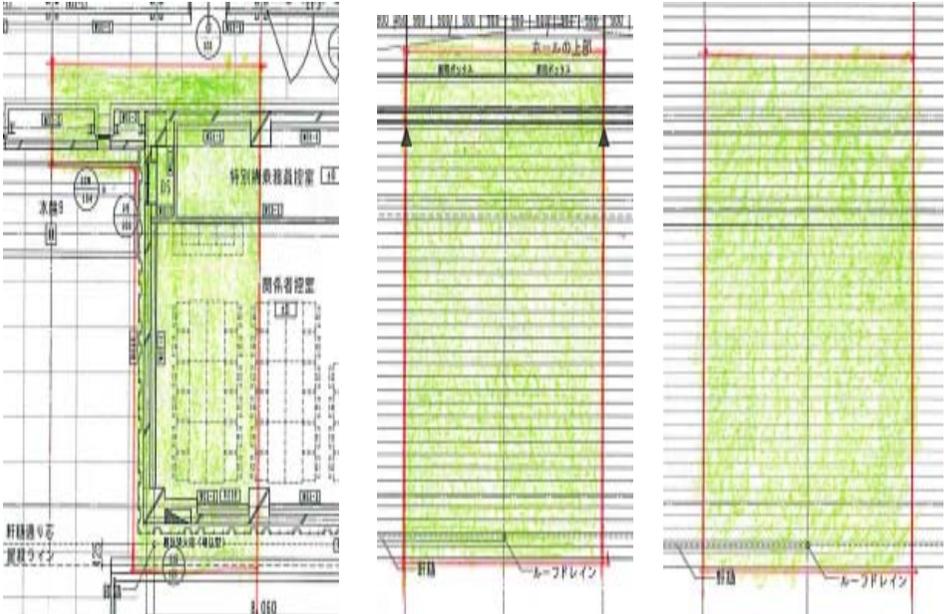
質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
53	A-015	天井下地耐震補強区分について、仕上表特記事項にCはA・B以外の天井と指示がありますが、仕上表にはCの指示もあります。 仕上表で「-」の室は耐震補強は不要で、一般の仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。特記事項は耐震補強をする場合の大きな考え方であり、本工事での具体的な適用は各室の天井下地耐震補強欄によります。「-」はA-009による天井下地耐震補強区分の適用は無しです。
54	S-002 A-025	打放種別について、下記のように相違しています。 ・特記仕様書 構造関係(その2):A種-地下1階床より上部 C種-基礎、基礎梁、ピット ・矩計図(2):地下1階空調機械室-B種 地下設備ピット-C種 打放種別は下記と考えて宜しいでしょうか。 ・A種:塗装下地 ・B種:防水下地・塗床下地・クロス下地 ・C種:上記以外 以上。御指示下さい。	外部及び内部、擁壁等については以下とします。 A種:塗装下地、屋外WC内壁(図示) B種:塗膜防水・塗布防水下地、塗床下地、左官下地、消火ポンプ室・空調機械室壁、設備基礎立上り、設備ピット階段立上り C種:石張り下地、電気室壁、水槽天井素地部、設備ピット壁、化粧室ピット壁・天井
55	A-016	間仕切壁 W22(遮音壁)について、吉野石膏:A-2000WI(片面)と指示がありますが、吉野石膏:A-2000WIは両面ボード+LGS千鳥配置+GW充填の仕様です。 片面ボード仕様は可能なのでしょうか。別の品番とする場合は改めて御指示下さい。	図示の通りとします。
56	A-015・025・ 131 S-069~081	小屋伏部の天井S梁について、下記のように相違しています。 ・仕上表(特記事項):特記無き限り室内を囲うスラブ・外壁が外部・ピットに面する部分の内側はその支持鉄骨・下地を含め断熱材を施す。 ・矩計図2:吹付断熱材 t50 ・断熱範囲図:硬質ウレタンフォーム吹付t50 ・耐火被覆範囲図1~13:吹付ロックウール t25 耐火被覆範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
57	A-016	壁断熱材が下記のように相違しています。 ・壁仕様図・耐火仕様図(PC):硬質ウレタンフォーム吹付 t50 ・断熱範囲図:硬質ウレタンフォーム吹付 t25 断熱範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
58	A-104	給湯室の壁仕上が化粧ケイカル板ですが、RC壁面の下地の詳細・工法を御指示下さい。	RC+EP-Gとします。
59	A-301	給湯室の壁キッチンパネル下地は不燃耐水PBt12.5と考えて宜しいでしょうか。 又、見切縁の仕様を御指示下さい。	A-016の「水廻りの場合は表面をGB(S)とする」を適用します。 見切は既製塩ビジョイナーとします。
60	A-016	間仕切W22・W23・W31に四周処理(シーリング・ロックフェルト)の指示がありませんが、見込んで宜しいでしょうか。	製品仕様、耐火認定仕様によることとします。
61	A-123 S-76～80	展開図6<西ホール玄関1側 南側展開図>等に梁:2-UE・Sと指示がありますが、構造図耐火被覆範囲図に耐火塗料の指示もあります。耐火塗料面に2-UE・S塗装と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
62	A-113・208・304	前室3-1・3-2壁面ニッチ、消火器スペース、貴賓室1床の間の床下地木床組の樹種・部材寸法等詳細を御指示下さい。	杉材程度とします。
63	A-006・020	ピット階への床下点検口が下記の様に相違しています。 ・特記仕様書(6):ステンレス製、600×600、密閉形 ・ピット平面図共通凡例:600φ、一般形 ピット平面図共通凡例を正と考えて宜しいでしょうか。 その際、仕様は鋳鉄製と考えて宜しいでしょうか。 又、メーカー・品番も併せて御指示下さい。	A-006排水工事の「鋳鉄製ふた」とします。メーカー・品番指定はありません。
64	A-020・301	ピット階平面図共通凡例に人通口上部にSUS手掛とありますが、雑詳細図1<D-0104>図には人通口上部と下部にもトラップの図示があります。上下部必要と考えて宜しいでしょうか。 又、上記のトラップはSUS304HL仕上、φ22、W400と考えて宜しいでしょうか。	人通口上下部必要でよろしいです。 仕様は建築工事標準詳細図8-31-1によります。
65	A-020・301	釜場深さは全てH600と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
66	A-020	雑排水槽内の階段の下地はモルタル金鍍と考えて宜しいでしょうか。	蹴込:C打放(B種)、踏面:C+Tとします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
67	A-015-020-024	B1F設備ピット内の排水溝は矩計図よりポリマーセメント系塗膜防水と指示があります。各種水槽と同様のパラテックスB-4A工法同等/モルタル金鍍下地と考えて宜しいでしょうか。又、設備ピット内の釜場も同様に考えて宜しいでしょうか。	パラテックスB-4A工法同等/打ち放し型枠B種+コンクリート金鍍下地とします。
68	A-020	B1F設備ピット平面図X4通り付近に排水溝蓋及び釜場蓋の図示があります。雑詳細図1<D-0111>を適用と考えて宜しいでしょうか。メーカー・品番を併せて御指示下さい。	よろしいです。 メーカー・品番指定はありません。
69	A-020-025	B1F設備ピット内の階段はモルタル金鍍と考えて宜しいでしょうか。	踏面:C+T 蹴上:C打放(B種) とします。
70	A-015-020-025	B1F空調機械室の壁面グラスウール範囲は矩計図よりX3通りのみと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は範囲を御指示下さい。	よろしいです。
71	A-025	矩計図2 B1F空調機械室のX3通りに遮音シートの指示があります。前質疑の壁面グラスウールと同範囲に必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
72	A-015-025	遮音シートの厚みが下記のように相違しています。 ・仕上表特記事項:t1.1(サンダムLA10 セオン化成同等) ・矩計図2:t1.0 仕上表特記事項を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
73	A-015-020	B1F空調機械室・消火ポンプ室の排水溝内は地下外壁と同様にポリマーセメント系塗膜防水、パラテックスB-2工法同等/モルタル金鍍下地と考えて宜しいでしょうか。	C+T+ポリマーセメント系塗膜防水、パラテックスB-4A工法同等以上とします。
74	A-015-020	B1F空調機械室・消火ポンプ室内の設備基礎仕上は床同仕上と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
75	A-015	電気室 防振材押えコンクリート内にはワイヤメッシュφ6 100×100を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。(S-001溶接金網の嵩上げコンクリートに該当)
76	A-015-026・306	EPS・PS・DSの天井仕上について下記不明点を御指示下さい。 ①天井につきまして下記の相違が見られます。 ・仕上表:C5 表しの指示 ・矩計図3 PS部:天井の指示なし 遮音天井範囲の為、天井は必要と考えて宜しいでしょうか。 ②上記①質疑が正の場合、遮音天井範囲外のX20/YY4通りDSの天井は直天井、RC打放補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ③上記①質疑が正の場合高さは、部分詳細図5よりCH2960と考えて宜しいでしょうか。	A-024・26図を正とし、下屋レベルの天井はないものとします。(上屋天井まで吹抜)
77	A-301	雑詳細図1<D-0112>ガラスウールボード張りのジョイナーは塩化ビニルと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
78	A-004・S-069	特記仕様書・耐火被覆範囲図にロックウール吹付とありますが、半湿式ロックウール、1時間耐火と考えて宜しいでしょうか。	半湿式ロックウール、1時間耐火、特記なき限りt=25のとします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
79	S-058	庇納まり詳細図内の鉄骨梁は全てロックール吹付25mmと考えて宜しいでしょうか。又、水平ブレースには耐火被覆不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
80	S-029・030・069 ～081	耐火被覆範囲図(軸組図)に図示されていない鉄骨梁(Y6a通りSG2やX7-8通り間SB60B等)は全てロックール吹付25mmと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
81	S-029・030	スラー吹付箇所は無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
82	S-048・069	鉄骨柱は耐火被覆及び耐火塗料は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は種類・範囲を御指示下さい。	よろしいです。
83	-	<p>下記のものについて、メーカー・品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケイ酸質系塗膜防水(消火水槽他) ・アルミカットパネル(玄関天井) ・アルミカットパネル(ホール他梁化粧板) ・縁甲板-桧 t=30 呂色漆塗(貴賓室1床の間) ・左官(2) ・左官(3) ・左官(4) ・耐火遮音間仕切(W23) ・遮音間仕切(W24) ・耐火間仕切(W31) ・床防振材(電気室) ・フリーアクセスフロア(電気室) ・化粧石膏ボード(天井) ・メラミン化粧板(ライニング腰壁<A-301<D-0122>>) ・岩綿吸音板(天井) ・キッチンパネル ・天然木突板不燃リブパネル(ホール幕板) ・耐火塗料 	<p>メーカー・品番指定はありません。 但し以下のものは図面の参考品番等を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官(1)～(4)の適用については追加補足図A-008を参照してください。 ・床防振材:A-015材料表を参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
84	A-001・021・023	<p>見本施工につきまして 平面の具体的な範囲が不明瞭です。下記緑色部と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p style="text-align: center;">1F平面図 下屋伏図 屋根伏図</p> 	追加補足図A-017～A-019を参照してください。
85	A-001・704	<p>特記仕様書(1)見本施工(北側擁壁)につきまして下記不明点を御指示下さい。</p> <p>①高さの範囲が不明です。外構詳細図3より 舗装より上部のH1800(土間を除く) と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②仕上下地につきまして、コンクリート・鉄筋の有無が不明です。</p> <p>③上記②質疑が不要の場合は下地構成を御指示下さい。</p>	<p>①よろしいです。</p> <p>②仕上げを確認する趣旨であるため下地は提案によるものとしま す。本設の擁壁Aのコンクリート・鉄筋はS-065のC断面と同じもの とします。</p> <p>③上記の通り。</p>

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
86	A-004	特記仕様書(4) 鍵箱より下記不明点を御指示下さい。 ①鍵の本数が不明です。 ②員数は1か所と考えて宜しいでしょうか。 ③仕様・メーカー品番が不明です。	建具の数とし、3セットとしてください。メーカー・品番指定はありません。
87	A-015	仕上表 特記事項より 空調吹出・吸込口は下地材や壁・床等の素地が見えないよう黒塗装を施すとの事ですが、黒塗装はSOPと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
88	A-017・101	電気室内 消火器ボックスの有無に下記の相違が見られます。 ・1階平面図: 消火器ボックス(置型)の指示あり ・1階平面詳細図1: 消火器ボックスの指示なし 消火器ボックス(置型)は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
89	A-017・104	廊下 X18/Y4部 消火器ボックスにつきまして、下記の相違が見られます。 ・1階平面図: 置型 ・1階平面詳細図: 埋込型 置型を正と考えて宜しいでしょうか。埋込型の場合はメーカー品番を御指示下さい。	よろしいです。
90	A-20	地階・ピット階平面詳細図より 下記不明点を御指示下さい。 ①地下外壁廻り水抜き管が4か所の図示ですが、図示の通り4か所設置と考えて宜しいでしょうか。 ②外壁廻り水抜きパイプ部排水目皿φ100 ステンレス製を見込んで宜しいでしょうか。	①よろしいです。 ②図示の通りSUSメッシュ付きとします。
91	A-104・301	1階平面詳細図4 MWC5・WWC5につきまして、下記不明点を御指示下さい。 ①MWC5 小便器下に汚垂石は必要とし、仕様は花崗岩(2)W600 t30程度と考えて宜しいでしょうか。 ②小便器ライニング甲板のW寸法に下記の相違が見られます。 ・雑詳細図1<D-0122>: W200 ・1階平面詳細図4: W300程度 W300と考えて宜しいでしょうか。 ③WWC5 SK内にライニングの書込がありません。必要としW300を長手方向に1本見込んで宜しいでしょうか。	①必要とし、グラニット(サンゲツ)同等以上W600とします。 ②W200を正とします。 ③W150、L=900とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
92	A-104・129・301	給湯室 流し台のL寸法に下記の相違が見られます。 ・1階平面詳細図4:L2500 ・展開図12、雑詳細図1:L3000 L3000を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
93	A-108・115	水廻り詳細図11<MW詳細図1~4>手洗い室化粧台詳細図より下記不明点を御指示下さい。 ①<MW詳細図1>より 化粧鏡裏 照明BOXのシロ塗装はSOPと考えて宜しいでしょうか。 ②<MW詳細図1~4>より 洗面化粧台 腰フロントパネルの点検口はケトン式と考えて宜しいでしょうか。 ③洗面ボウル 大理石削出しの石種はビアンコカラ程度と考えて宜しいでしょうか。 ④MWC4・WWC4 洗面カウンター巾木の仕上に下記の相違が見られます。 ・水廻り詳細図11<MW詳細図3・4>:花崗岩(4) ・水廻り詳細図3・4 展開図:大理石(5) 花崗岩(4)を正と考えて宜しいでしょうか。	①B-AE(白色)とします。 ②よろしいです。 ③図示の通りBIANCO Pとします。 ④大理石(5)を正とします。
94	A-110・113	各所 壁面小窓枠、木製建具枠、三方枠等の木練付の樹種は設置する室の天然木練付化粧合板に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
95	A-110・113	上記質疑回答より否の場合は樹種を御指示下さい。	上記回答による。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
96	A-116	下屋天井伏図より 開口補強リストにつきまして、一般天井・耐震天井・特定天井毎のサイズ・員数が不明です。御指示下さい。	A-116図の600×600は個数27を正とする(天井点検口の補強。内訳書も27が正)。920×920は560×560を正とする(A-117の天井点検口の補強)。 上記を踏まえ、耐震天井における開口補強の数量は以下の通り(その他は一般天井) 【耐震B2】 560×560:4 【耐震C】 200×200:8 250×250:6 300×300:2 600×600:7 1300×200:15 1300×250:16 1000×1000:6
97	A-117・302・303	ロールスクリーン部 天井点検口のW寸法につきまして、部分詳細図よりW1560及びW1800の2種指示ですが、下屋天井伏図より左記二種以外にも各所コーナー部及びX3・18通部に細かい書込があります。各々の寸法を御指示下さい。	W1560及びW1800を基本とし、その他は図示によりご判断下さい。
98	A-203・208	建具詳細図4 各所木製建具枠の仕様は設置される木製建具の仕様に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
99	A-305	部分詳細図4(玄関) A部:玄関2、4水盤周りより 膳板及び立上りの花崗岩(6)の施工工法を御指示下さい。	膳板部:緩衝材+下部ダボピン留め 立上り:上下ダボピン留め とします。
100	A-003・306	部分詳細図5(WC上部足場断面)より タラップの表面処理は溶融亜鉛メッキC種と考えて宜しいでしょうか。	A-306に図示の錆止め塗装の上SOP塗装とします
101	A-302・403	ロールスクリーンボックスの形状に下記の相違が見られます。 ・部分詳細図1:280×170、250 ・電動ロールスクリーン詳細図2:250×250 部分詳細図1を正と考えて宜しいでしょうか。	部分詳細図を正とし、以下の通りとします。 Y3、Y9通り:W280×H250(170) X3、X18通り:W280×H400

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
102	A-402	電動ロールスクリーン詳細図1 凡例より ロールスクリーン生地につきまして、下記の相違が見られます。 ・2行目 好カワ RSE60タコスⅡ: 経木スタレ ・3行目 生地: 井上スタレ小紋程度 ロールスクリーンの生地は井上スタレ小紋程度と考えて宜しいでしょうか。	それぞれロールスクリーンの機器本体の仕様、スタレの生地仕様を示しています。 生地仕様は図示の通り井上スタレ小紋程度となります。
103	A-403	電動ロールスクリーン詳細図2 北側展開図に指示されているロールスクリーン(ハイサイドライト1FL+4400より上部)は全て井上スタレ小紋程度を■仕様(右上)材料: 竹(孟宗竹)φ1.2・・・に読み替えて設置するものと考えて宜しいでしょうか。	A-402,403の全てのスタレ生地を井上スタレ小紋程度とし、その具体的な仕様が■仕様に記載のものとなります。
104	A-105～109	水廻り詳細図1～5より 手摺SUS304φ×2.0 W700×D700より 木練付の樹種が不明です。樺桜 染色ウレタンCL 3分艶程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	樺桜 染色ウレタンCL 3分艶有とします。
105	A-105116・ 117・ 203・306	下記のメーカー品番が不明です。御指示下さい。 ①天井点検口600角 ②天井点検口560角(図A-117 上屋根天井伏図) ③大便器用L型手摺 ④トイレブース ⑤天井点検口600角(図A-306 WC上部足場断面 タラップ下部) ⑥消火器ボックス(図A-301<D-0119>)	メーカー・品番指定はありません。
106	—	各所設備機器取付下地は合板 t12(水廻りは耐水合板)程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
107	A-501	ピ°外表示1について、参考図がありますが、文字が潰れています。拡大した図面を御指示下さい。	追加補足図A-501を参照してください。
108	A-501	ピ°外表示2:アクリル切文字について、塗装の仕様を御指示下さい。	AEとします。
109	A-501	ピ°外表示3:ステンレスについて、塗装の仕様を御指示下さい。	B-UEとします。
		(建具)	
110	A-002	外部建具廻りシーリングの仕様は変成シリコン系15×10+15×10と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答									
111	A-003	アルミサッシの性能が不明です。B種(S-5 A-3 W-4)と考えて宜しいでしょうか。	建具表備考欄に記載の通りとします。									
112	A-004	特記仕様書 カーテンウォールに適用の図示がありますが、該当無しと考えて宜しいでしょうか。	PCカーテンウォールが該当します。									
113	A-205	SSD-103・104 コーナー部にエッジプロテクター:ステンレス-□32があります。ガラス(ガラスシールも含めた)とエッジプロテクターの納まり詳細図を御指示下さい。	シール取り合いとします。									
114	A-206	SSW-201の外部側と内部側ガラスの取り合い下部に乾燥剤充填とあります。乾燥剤の仕様を御指示下さい。	シリカゲル程度とします。									
115	A-602・604	建具の箇所数が下記のように相違しています。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">建具表</td> <td style="text-align: center;">キープラン</td> </tr> <tr> <td>・LU-401:</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>・LU-404:</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table> 全てキープランを正と考えて宜しいでしょうか。		建具表	キープラン	・LU-401:	2	1	・LU-404:	2	1	追加補足図A-604を参照してください。
	建具表	キープラン										
・LU-401:	2	1										
・LU-404:	2	1										
116	A-201	SSDの扉仕上げで天然木練付化粧合板とありますが、練付化粧合板に塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。また、塗装が必要な場合は、塗装種類を御指示下さい。	A-005の天然木練付化粧合板の仕様により、染色ウレタンCL3分艶有とします。合わせて追加補足図A-201を参照してください。									
117	A-004	防弾ガラスの規格がUL752 Level5とあります。防弾ガラスのメーカー・品番、ガラスの厚みに指定があれば御指示下さい。	メーカー・品番指定はありません。ガラスの厚みに指定はありませんが、概ね建具枠に納まる範囲としてください。									
118	A-202	SD-101～104・109～001に操作金物がありません。レバーハンドル(ステンレス製)と考えて宜しいでしょうか。	SD-101～104・109、110は操作金物は不要です。SD-001は図示のとおりです。									
119	A-202	SD-101～104の備考欄にST-FB B-AE・S 4周枠とありますが、姿図(D-16)よりSUS-FB B-AE・S 4周枠と考えて宜しいでしょうか。	追加補足図A-202を参照してください。									

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
120	A-202・204	建具の寸法が下記のように相違しています。 寸法欄 ・SW-203: W825 ・SW-204: H1167～1601 ・SW-205: W2970×H1647～1953 ・SW-207: W825 全て姿図を正と考えて宜しいでしょうか。 姿図 W606.5 H1125～1552 W2300×H1606.5～1913 W606.5	追加補足図A-202を参照してください。
121	A-202	LSD-104等にガラス化粧フィルムがあります。メーカー・品番があれば御指示下さい。	追加補足図A-202を参照してください。
122	A-202・203	AGの仕様はステンレス防鳥網、ダクト接続用フランジと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	追加補足図A-202,203を参照してください。
123	A-202・203	AG-101～104・106・107はキープランでアルミキャストパネル面の外壁に取り付くため、片面アルミキャストパネル貼りと考えて宜しいでしょうか。	直接ガラリには取り付けず、アルミガラリ開口の上下RC躯体部にアルミキャストパネルの下地アングルを取り付け縁を切ります。
124	A-204	SW-208(姿図)で左右のガラスが台形2分割になっていますが、2分割部分の最大H寸法はH2300と考えて宜しいでしょうか。	下部に記載の割り付けで5分割となり、最小部が図示の1,966.5、目地部が2,124、2,280、最大部が図示の2,360となります。
125	A-203	WD-115～117に操作金物がありません。掘込み引手と考えて宜しいでしょうか。	操作金物は不要です。
126	A-203	WD-101～117の仕上がUC塗装とあります。建具表通り天然木練付化粧合板の上にUC塗装を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	追加補足図A-203を参照してください。
		【制限区域内外化粧室】	
		(構造(制限区域内))	
127	S-010・067	制限区域内化粧室のコンクリート仕様について、S-010 6章コンクリート工事に記載の「付属棟」を適用すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
128	A-601 S-067	ピット下端レベルについて、下記の様に相違しています。 ・意匠図(A-A'・B-B'矩計図)・・・1FL-1650 ・構造図(基礎伏図 共通事項2)・・・1FL-1450 意匠図を正とし、1FL-1650と考えて宜しいでしょうか。	意匠図を正とし、1FL-1650を基礎下深さとしてください。
129	S-067	前記質疑が正の場合、基礎下端レベルも1FL-1650とし、基礎梁下端を増打すると考えて宜しいでしょうか。	基礎下端に合わせて基礎梁せいを200上げて1400としてください。
130	A-601 S-067	基礎・基礎梁・耐圧版下の地業について、下記の様に相違しています。 ・意匠図(A-A'矩計図)・・・捨てコンt50+砕石t60 ・構造図・・・捨てコンt50+砕石t150 構造図を正とし、捨てコンt50+砕石t150と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。
131	A-601 S-067	基礎梁幅・耐圧版厚について、構造図と意匠図で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。
132	A-601 S-067	1階スラブ天端レベルについて、意匠図(A-A'・B-B'矩計図)より1FL-60と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
133	S-067	壁天端レベルについて、下記の様に相違しています。 ・1階伏図(共通事項4)・・・1FL+2580 ・各通り軸組図・・・1FL+2525 軸組図を正とし、1FL+2525と考えて宜しいでしょうか。	軸組図を正としてください。
		(構造(制限区域外))	
134	S-171 A-603	制限区域外化粧室の基礎下端レベルについて、構造図と意匠図で下記の様に相違しております。 ・意匠図(A-A'矩計図より) 1FL-1650mm ・構造図(基礎伏図より) 1FL-1450mm 基礎下深さは意匠図(1FL-1650mm)を正として宜しいでしょうか。	意匠図を正とし、1FL-1650を基礎下深さとしてください。
135	S-171 A-603	前記質疑について宜しい場合、bY1～3通/bX1～2通間の耐圧板天端レベルについても意匠図の矩計図に倣い、1FL-1450として宜しいでしょうか。	よろしいです。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
136	S-171 A-603	制限区域外化粧室の1階スラブ天端レベルについて、意匠図より全て1FL-60と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
137	S-171 A-603	制限区域外化粧室の基礎躯体下の地業について、構造図と意匠図で下記のように相違しています。 (耐圧板下) ・構造図:捨てコンクリートt50+砕石t150 ・意匠図:ピット部は捨てコンクリートt50+砕石60、1階スラブ下は捨てコンクリートt50+砕石t200 (基礎梁・基礎下) ・構造図:捨てコンクリートt50+砕石t150 ・意匠図:捨てコンクリートt50+砕石t60 地業については全て構造図を正として宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。
138	S-001 S-171	確認ですが、床下防湿層について、1階スラブが耐圧板符号(FS1、FCS1)のスラブ下についても、防湿シートを適用と考えて宜しいでしょうか。	適用無しとします。
139	S-001 S-171	制限区域外化粧室の1階RC壁の壁高さについて、構造図と意匠図で下記のように相違しております。 ・構造図 1FL+2555mm ・意匠図 1FL+3165mm 1階RC壁の高さは全て意匠図(1FL+3165mm)を正と考えて宜しいでしょうか。	意匠図により、 $3290-(70+250+290+100)=2580$ 1FL+2580が壁仕上天端となり、構造躯体天端としては構造図の1FL+2525となります。
140	S-068	bY1～bY3通りのRC基礎柱の有無について、下記のように相違しています。 ・1階伏図…図示なし ・bX1通り軸組図…図示あり 軸組図を正とし、基礎柱が必要と考え宜しいでしょうか。	基礎柱は不要、伏図を正としてください。
141	A-602・603 S-068	基礎梁幅・布基礎厚について、構造図と意匠図で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
		(外部)	
142	A-604	外壁2について、外部仕上表にコンクリート化粧打放の上、大理石(6)とあります。石仕上は乾式工法ですが、下地化粧打放は数量公開資料同様に見込むと考えて宜しいでしょうか。	追加補足図A-604を参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
143	A-604・605	屋根鼻先部のアングルについて、下記のように相違しています。 ・制限区域内化粧室詳細図4(外部仕上表):L-250×250×5 ・制限区域内化粧室詳細図5:L-250×320×5 制限区域内化粧室詳細図5を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。合わせて追加補足図A-601、603、604を参照してください。(鼻先部アングルの寸法押え位置のずれの修正であり、これによる図自体の高さ方向の修正はありません)
144	-	下記の項目について、仕様等詳細及びメーカー・品番を御指示下さい。 ・軒天アルミハニカムパネル ・フッ素樹脂塗装	詳細は図示の通り。メーカー・品番指定はありません。
		(内部)	
145	A-604	ピット内タラップの仕様について、φ19・W400と考えて宜しいでしょうか。	仕様は建築工事標準詳細図8-31-1にならうものとします。
146	A-601 S-067	制限区域内化粧室のピットについて、排水溝と思われる二重線が書かれています が、A-A矩計図では溝の断面が図示されていません。 排水溝が必要な場合は、仕上・寸法を御指示下さい。	排水溝は不要です。
147	A-601・603	ピット内の仕上について、下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・床:コンクリート金鍍 素地 ・壁、天井:コンクリート打放補修 素地(C種)	以下の通りとします。 床:C+T 壁:打放C種 天井:打放C種 釜場底:C+T、釜場立上り:C打放(B種)
148	-	下記の項目について、仕様等詳細及びメーカー・品番を御指示下さい。 ・壁 撥水材 ・壁 フッ素樹脂塗装 ・壁 マリン化粧板(ライニング) ・PS壁 マリン樹脂化粧板 ・ピット マンホール ・化粧床下点検口	メーカー・品番指定はありません。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
149	A-601~605	制限区域内外化粧室1~5より各便所につきまして下記不明点を御指示下さい。 ①制限区域内外化粧室詳細図5 ライニングより腰壁下部に補強材(H300程度)の書込ですが、大便器取付下地とし、耐水合板t12 W500程度を見込んで宜しいでしょうか。 ②上記①質疑より小便器にも取付下地を必要とし、小便器の巾×H1100を見込んで宜しいでしょうか。 ③制限区域外化粧室 MWC 汚垂石は花崗岩(9)と考えて宜しいでしょうか。 ④制限区域外化粧室 WWC 洗面カウンター部化粧鏡は1か所と考えて宜しいでしょうか。	①よろしいです。 ②よろしいです。 ③花崗岩(9)t=35とします。 ④2か所とします。 合わせて追加補足図A601~605を参照してください。
		(建具)	
150	A-601・604	天井伏図のax-2~3通り間にサッシの図示がありますが、符号がありません。建具は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・SSW(2連FIX窓) 寸法:W3860(1930+1930)×H270 ガラスと仕上はSSW-301~304に倣う	よろしいです。 追加補足図A-601、604を参照してください。
151	A-602・604	天井伏図のbx-1~2通り間にサッシの図示がありますが、符号がありません。建具は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・SSW(2連FIX窓) 寸法:W4730(2365+2365)×H270 ガラスと仕上はSSW-401~404に倣う	よろしいです。 追加補足図A-602、604を参照してください。
		【外構】	
		(構造(室外機置場(1)))	
152	S-010・065	室外機置場(1)のコンクリート仕様について、S-010 6章コンクリート工事に記載の「その他外構」を適用すると考えて宜しいでしょうか。	基礎・基礎梁(付属棟)を適用してください。
153	S-044・065	確認ですが、室外機置場(1)の基礎F11について、S-044に記載の本体基礎リストF11に倣うと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
154	S-065	OFCS1の長辺方向配筋について、下記のように相違しています。 ・床スラブリスト…D10D13@200(上・下端筋とも) ・A断面、C断面…D10D13@150(上・下端筋とも) 床スラブリストを正とし、D10D13@200と考えると宜しいでしょうか。	断面図を正としてください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
155	S-065	OFCS1下の地業について、捨てコンt50+碎石t150と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
156	S-065	X0-2550通りの壁天端レベルについて、下記のように相違しています。 ・A断面・・・1FL±0 ・壁リスト備考・・・1FL-100 A断面を正とし、1FL±0と考えて宜しいでしょうか。	A断面を正としてください。
157	A-301	室外機置場階段について、配筋要領をご指示下さい。	別紙S⑥を参照してください。
		(外構)	
158	A-704～706・804	外構工事において、特記無きコンクリートの仕様を以下の様に考えて宜しいでしょうか。 ・工作物 Fc21 SL18 ・土間コンクリート Fc18 SL18 ・捨てコンクリート Fc18 SL15	・工作物 Fc21 SL18 ・土間コンクリート Fc18 SL15(S-010による) ・捨てコンクリート Fc18 SL15またはSL18(S-002による)
159	A-002・704	石張舗装の目地について、一般目地はモルタル目地、伸縮目地部をシーリング目地と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
160	A-704	土間コンの補強について、以下の様に考えて宜しいでしょうか。 ・車道部 鉄筋 D13@200(シングルクロス) ・歩道部 ワイヤーマッシュ φ6-150×150	S-053 床スラブリストの共通事項によるものとしてください。
161	A-006	以下試験について、制限区域内・区域外それぞれのか所数を御指示下さい。 ・路床土の支持力比試験 ・路盤締固め度の試験	①3か所とします。 ②3か所とします。
162	A-701・801	雨水排水工事について、外構平面図において側溝、柵等の指示がありますがこれには依らず、全て雨水排水計画図に従うものと考えて宜しいでしょうか。	雨水排水計画図に従うものとしますが、庭園側溝はA-705によるものとします。
163	A-804	集水柵B用化粧蓋について、「福西鋳物:SF-SCBSM-1同等品」との指示ですが当該製品に800角柵用がありません。800角柵に対応した同等品を御指示下さい。	福西鋳物:SF-SCBSM-1同等仕様の800角柵用の化粧蓋とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
164	A-804	集水柵D・Eについて、敷モルタルが図示されていますが、現場打柵のため不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
165	A-704	排水弁柵の配筋について、D10@200(タテヨコシングル)と考えて宜しいでしょうか。	別紙S⑦を参照してください。
166	A-804	U型側溝・集水柵のグレーチング蓋について、歩道用・車道用共にボルト固定式と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
167	A-804	砂利用側溝300×500(U-016)について、図示より300×300と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
168	A-805	VU管・取付管の寸法表において、D250及びD300のb2寸法がD150と同様となっております。読み替えた寸法を御指示下さい。	以下の通りとします。 D250:1360 D300:1521 材料表は誤記のため削除します。追加補足図A-805を参照してください。
169	A-704・S-066	擁壁Dのベース幅が相違しています。 ・外構基礎詳細図 W1500 ・外構詳細図 W1800 外構基礎詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
170	A-701・705	庭園西側において、擁壁G(GL+100～700)の指示がありますが外構詳細図4の擁壁H(GL+100～700)と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
171	A-704	擁壁F・Gの配筋について、構造図に指示がありません。擁壁Dと同様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
172	A-705	擁壁Hの配筋について、D10@200(タテヨコダブル)、端部D-13と考えて宜しいでしょうか。	D13@200(タテヨコダブル)としてください。
173	A-704	擁壁において、左官(1)-1削り出し及び左官(1)-2との指示がありますが内容が不明です。それぞれ仕様・参考メーカー品番を御指示下さい。	追加補足図A-008を参照してください。
174	A-704・705	擁壁G・H花崗岩(8)の角数について、縦目地@900との指示より900×300角と考えて宜しいでしょうか。	水平目地は無し(1枚もの)とします。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
175	A-704	擁壁A～D・Fにおいて、化粧目地切と指示されていますが、誘発目地/シーリングと読み替えて宜しいでしょうか。	シールは不要です。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
176	A-007	植栽基盤整備(芝、地被類)の種別について、B種とありますが、客土(十和田砂+ピートモス)が指示されていることよりC種と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
177	A-705	築山(植栽部)の仕様について、客土(t300)+盛土と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
178	A-007	以下試験について、試験法及び制限区域内・区域外それぞれのか所数を御指示下さい。 ・土壌の水素イオン濃度指数(pH試験) ・土壌の透水性、塩分濃度、土壌硬度試験	それぞれ1か所としますが、実施方法の詳細は協議によることとします。
179	A-007	土壌調査のうえ植栽に適さない場合の対策について、不要と考えて宜しいでしょうか。	適さない場合の対策は要とし、具体的な対応は協議によります。
180	A-704	各種基礎(G-080～083)のコンクリート見掛け部は打放補修仕上で宜しいでしょうか。	立上り:C打放(B種)、天端:C+Tとします。
181	A-704	各種基礎(G-081～083)における工事区分について確認ですが、アンカーボルト:建築工事、ベースプレート/モルタル充填:設備工事で宜しいでしょうか。	よろしいです。 設備工事は別途設備工事です。
182	A-705・801	庭園内側溝(Y1通側端部)について、以下の様に相違しています。 ・雨水排水計画図 庭園側溝300×400 ・外構詳細図4 水盤内にW250×H300、水盤外にW450×H400 外構詳細図4を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
183	A-705	庭園内側溝の仕上はポリマーセメント系塗膜防水で宜しいでしょうか。	よろしいです。
184	A-705	庭園内水盤の底版コンクリートの配筋について、D13@200(ダブルクロス)で宜しいでしょうか。	別紙S⑧を参照してください。
185	A-705	庭園の水引砕石(砂利40φ)について、敷厚はt100、築山と擁壁が接する部分に施すと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。合わせて棒石、水没棒石の石種に誤記がありましたので(蛭川みかげが正)、追加補足図A-705を合わせて参照してください。

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
186	A-705・706	水盤鎖樋部柵の詳細が外構詳細図4と外構詳細図5において相違しています。外構詳細図4を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
187	A-705	水盤1～3の配筋について、D13@200(ダブルクロス)、鎖樋部柵はD10@200(タテヨコシングル)と考えて宜しいでしょうか。	別紙S⑧を参照してください。
188	A-705	水盤1～3の花崗岩種別について確認ですが、花崗岩(6)で宜しいでしょうか。	よろしいです。
189	A-705	水盤1～3の花崗岩の角数は1800×450(溝部分は900×250)と考えて宜しいでしょうか。	1800×400、412.5程度(溝部分は900×250程度)で平面図の割り付けによります。
190	A-701	庭園南側植込内の飛び石について、石種・厚さ等御指示下さい。	花崗岩(3)と同仕様、450×450とします。
191	A-705・804	以下について、参考メーカー・品番を御指示下さい。 ・集水柵グレーチング蓋 ・U型側溝グレーチング蓋 ・スリット側溝蓋 ・SUSグレーチング(庭園内側溝) ・SUSグレーチング(水盤鎖樋部柵) ・アルミキャスト(擁壁E) ・防根シート(庭園)	メーカー・品番指定はありません。
192	入札説明書	入札時積算数量書活用方式ですが、国交省のHPIに掲載のある【営繕工事における「入札時積算数量書活用方式」の実施について Q&A(平成29年3月14日時点)】の問14の回答のとおり、入札時積算数量書と工事費内訳書の数量が全て一致しなくても疑義部分の数量が受発注者ともに一致していれば協議対象という理解でよろしいでしょうか。	よろしいです。

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
		【電気設備】	
1	A402、E-06~16	A402電動ロールスクリーン詳細図1の工事区分に電源線・信号線・スイッチ線の配管配線、電源(AC100V)の供給、スイッチ設置に伴う裏ボックスの設置が電気工事と記載がありますが平面図・盤図をみても配線ルート、配線種別、該当の盤が不明です。配線ルート、配線種別の分かる図面の発行をお願い致します。	電源(AC100V)の供給のみ電気工事とします。 電源線・信号線・スイッチ線の配管配線、スイッチ設置に伴う裏ボックスの設置はブラインド工事とします。 (別紙E①②)
2	M-12、E-06~16	水盤設備_配管図にCP制御盤からRPリモート盤までの配管配線は電気工事と記載がありますが平面図をみても配線ルート、配線種別が不明です。配線ルート、配線種別の分かる図面の発行をお願い致します。	機械工事です。
3	M-12、E-12、13	水景システム制御盤CP-1については、電気図面にシンボルがプロットされますが、盤図がありません。M-12の機器表にCP-1の記載が有りますので水景システム制御盤CP-1は衛生工事と考えて宜しいでしょうか。電気工事で見込む場合は盤図の発行をお願い致します。	機械工事です。
4	E-000	特記仕様書にて”フラッシュプレートは図面に特記なき場合、(●金属製(ステンレス、新金属を含む))”と記載がありますが、通常の新金属プレートとして宜しいでしょうか。	一部プレートの仕様を変更し、その他は新金属プレートとします。 参考図を添付いたします。(別紙E③)
5	E-000	特記仕様書にて、プレートは新金属との記載がありますが貴賓室内も同プレートにて計上と考えて宜しいでしょうか。(数量公開資料にはすべて新金属プレートが計上されています。)	同上
6	E-03	照明器具図(1) 記号:「D5」 型番:「LRS1-1400LM相当品」は中止品です。代替型番:「LRS1-1300LM-1相当品」に置き換えるものと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、メーカー名、型番をご教授願います。	LRS1-1300LM-1相当品とします。
7	E-03	照明器具図(1) 記号:「D6」 型番:「LRS1-950LM相当品」は中止品です。代替型番:「LRS1-850LM相当品」に置き換えるものと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、メーカー名、型番をご教授願います。	LRS1-850LM相当品とします。
8	E-03	照明器具D4に関して、本建物は重耐塩エリアと考えられますが、D4は防滴仕様となっております。当該器具は重耐塩器具がないので耐塩仕様として宜しいでしょうか	よろしです。

9	E-04	照明器具図(2) 記号「EX1」の石蓋は建築工事として良いでしょうか。その際石蓋の寸法及び材質等の仕様が不明なのでご教授願います。	石蓋は建築工事となります。(参考:A-302,303)
10	E-04	”以下の器具は、モックアップを2台製作すること。(試作版、試作品修正版)EX1、FL1、L3、B1”との記載がありますが修正内容は想定できない為、修正に必要な費用は別途として試作品修正版は試作版を見積計上するとして、モックアップの台数については EX1:(試作版2台) FL1:(試作版2台) L3:(試作版2台) B1:(試作版2台)として良いでしょうか。 もし修正費用を計上する場合は各機器1台あたりどのくらいの費用を想定すれば良いか御教授下さい。	設置する特注器具FX1、FL1、L3、B1を設計、製作する過程での試作品です。器具の単価に含まれていると考えています。
11	E-04~07	照明器具B1について、E04の照明器具姿図には記載がありますが平面図には記載がありません。別途工事と考えて良いでしょうか。本工事に見込む場合は電灯平面図に設置場所の記載をお願い致します。	手洗室1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2に各2台計上してください。(別紙E②④)
12	E-04~07	照明器具B1について別途工事の場合、モックアップは2台見積りに計上致しますか。	質疑No.10及び11によります。
13	E-05	ルートン調光システムに関して、負荷設備など詳細が不明です。調光設備機器は、メーカー回答より以下の内容で積算するものと考えて宜しいでしょうか。LCP調光器盤20回路×4面、子機:4シーンコントロールボタン×10台、2ボタンコントロール×2台、LCP用IOインターフェイス×1台、ルートン専用ケーブルL150m巻×2個異なる場合は数量を御指示下さい。また、平面図に各機器のプロットが無く設置場所が不明ですので図示にて御教授下さい。	詳細図を添付致します。(別紙E⑤)
14	E-05~07	調光盤から照明器具までの信号線の配線ルート、配線種別が不明です。配線ルート、配線種別の分かる図面の発行をお願い致します。	詳細図を添付致します。(別紙E⑤)
15	E-07	誘導灯信号装置から誘導灯までの信号線の配線ルート、配線種別不明です。配線ルート、配線種別の分かる図面の発行をお願い致します。	別紙を参照願います。(別紙E⑥)

16	E-09,17	総合盤収納機器表に警報盤がございますが、警報線、警報の内容が記載されている図面がございます。警報盤が本工事の場合、仕様と警報線の線種をご指示下さい。	EM-CEE2 [□] -2Cを警報盤～監視対象設備まで配線します。
17	E-09,17	総合盤収納機器表に警報盤がございますが、警報盤の仕様(窓数)が不明です。ご教授願います。	各盤の一括警報、受変電設備の一括警報と考えてください。
18	E-000、E-12、E-14、数量公開資料	受変電設備について E-12幹線系統図及びE-14動力幹線1階平面図にはキュービクルのプラットがありますが受変電設備に関する図面(単線結線図、配電盤図、姿図、電気室配置図)がありません。E-000の工事項目では○となっていますので受変電設備は数量公開資料記載の接地工事のみとしてそれ以外の機器(キュービクル)は別途工事としてよいでしょうか。本工事に見込む場合は受変電設備に関する図面(単線結線図、配電盤図、姿図、電気室配置図)の発行をお願い致します。	受変電設備(接地工事を除く)は別工事となります。ただ、取り合いの打ち合わせは必要になります。
19	E-13	地下1階 動力・幹線設備 ケーブルラックの仕様、サイズを御指示下さい。	ケーブルラックはZM形、サイズはW:600とW:300となります。
20	E-13、15	動力設備、制御盤及び2次側配管配線は、別途工事として宜しいでしょうか。図面注記に『制御盤及び2次側配管配線は、別途工事』と記載あり、見積区分中項目には、動力設備・動力幹線のみ記載されています。	よろしいです。
21	E-16	動力制御盤に関して、塗装の仕様がありません。屋内盤はメラミン指定色塗装、屋外盤は重耐塩塗装と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。(別途工事の場合は、回答は不要です)	別途工事図面によります。
22	E-17	誘導灯信号装置についてはFF90028K(25回路)で宜しいでしょうか。異なる場合は型番及び仕様をご教授願います。	FF90023(1回路)をお見込ください。また、点滅形昇降式誘導灯は一般の誘導灯に変更し、消灯のみの制御とします。
23	E-000、17	誘導支援設備 トイレ等呼出は、E-000の工事項目は○ですが、図面がありますので本工事に含むとして宜しいでしょうか。	よろしいです。
24	E-12、13、17、18	通信設備図には、屋外引込からのプルボックスが記載されていますが、動力・幹線設備図には、電力引込と屋外トイレ引込にプルボックスの記載がありません。図面通り不要として宜しいでしょうか	PBを見込んでください。

25	E-12、28	電力引込みに高圧ケーブルが記載されていますが、本工事に含むとして宜しいでしょうか。	よろしいです。
26	E-12、28	電力引込みについて 幹線系統図・構内配電・通信線路図に”CABマンホールへ接続(電力 6.6KVx2)”と記載がありますが、CABマンホールの位置が不明です。CABマンホールの周辺環境が不明なので掘削工事が計上できません。CABマンホールの位置を平面図にて図示をお願いします。	敷地境界から50m程度と考えてください。
27	E-17、28	通信引込みについて 幹線系統図・構内配電・通信線路図に”CABマンホールへ接続(通信)”と記載がありますが、CABマンホールの位置が不明です。CABマンホールの周辺環境が不明なので掘削工事が計上できません。CABマンホールの位置を平面図にて図示をお願いします。	敷地境界から50m程度と考えてください。
28	E-28	電力引込、通信引込のCABマンホールは別途工事として宜しいでしょうか。	敷地外のCABマンホールが別途工事対象となります。
29	E-28	ハンドホール(屋外トイレ用電灯幹線・電話・TV、警察アンテナ用)は、図面通り強電弱電共用として宜しいでしょうか。	よろしいです。
30	E-28	屋外の監視カメラ、赤外線センサー、伝送制御装置用配管は、屋外に項目(監視カメラ設備)を追加して、本工事に含むとして宜しいでしょうか。	よろしいです。
31	E-28	屋外の監視カメラ、赤外線センサー、伝送制御装置用の配管が建屋内に引込まれていませんが不要として宜しいでしょうか。本工事見込む場合は配管サイズ、配管ルート分かる図面の発行をお願い致します。	別紙を参照願います。(別紙E⑦)
32	E-29	テレビ共同受信設備においてAU-2アンテナの取付位置はCSBSA-60アンテナと同じ場所と考えて宜しいでしょうか。ご教授願います。	よろしいです。
33	E-29	テレビ共同受信設備においてアンテナSUS仕様として宜しいでしょうか。	よろしいです。

34		屋外設置機器はSUS製・重耐塩仕様でしょうか。	よろしいです。
----	--	-------------------------	---------

件名：

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
		【機械設備】	
1	A-008-2	工事区分表の凡例にMはありませんが、備考欄に“洗面器はM”等の記載があります。Mは衛生工事と考えてよろしいでしょうか	宜しいです。
2	A-008-2	工事区分表で予備スリーブの穴埋めは各設備となっておりますが、図面上記載がありません。穴埋めは無しとしてよろしいでしょうか。 また、地中梁スリーブに関しては該当なしとして宜しいでしょうか。	S-064図より想定願います。
3	A-008-2	上記に関連して、予備スリーブがある場合、口径、数量をご教授願います。	S-064図より想定願います。
4	A-008-2	工事区分表で屋内の基礎は各設備となっておりますが、建築工事としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
5	A-008-2	質問番号1がよろしい場合、工事区分表で雨水利用設備集水管はナイフゲート弁以降はMとありますが、ナイフゲート弁が図示されておきませんので、ポンプアップ以降を衛生工事と考えてよろしいでしょうか(雨水貯留槽まで建築工事)	宜しいです。
6	A-008-2	工事区分表で化粧マンホール上ふたの表面仕上げは衛生工事とありますが、本体取付を衛生、表面仕上げを建築工事と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
7	A-008-2 M-004	工事区分表で機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)に衛生、空調設備となっておりますが、機器表で排水ポンプの付属品に制御盤がありません。制御盤を含めて二次側配管・配線工事を本工事としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
8	M-4 M-6	屋外消火栓設備について消火補給水槽又はジョッキポンプが必要となります。B1階消火ポンプ室の中にジョッキポンプ(20φ×20L/min×39m)を設置することとしてよろしいでしょうか。	消火補給水槽及びジョッキポンプは不要です。消防協議済みです。

件名：

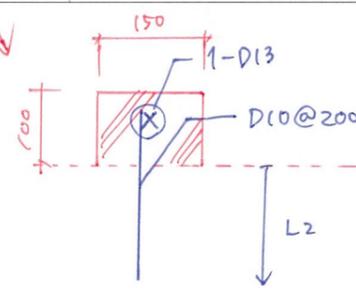
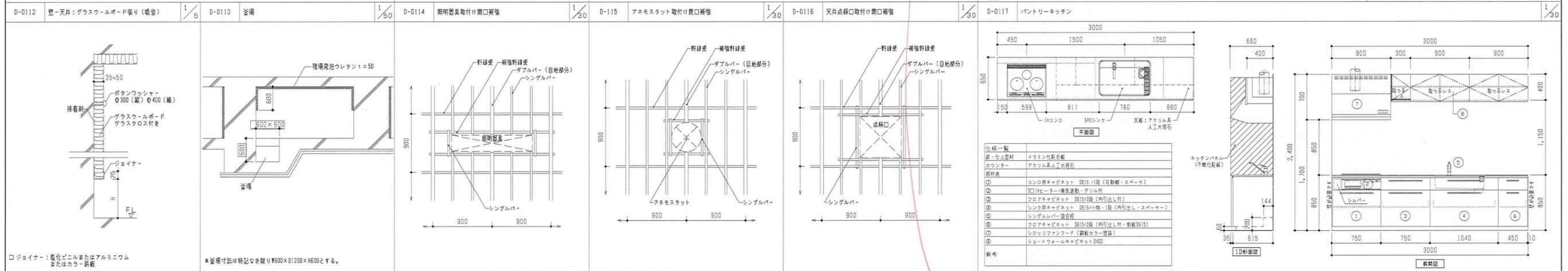
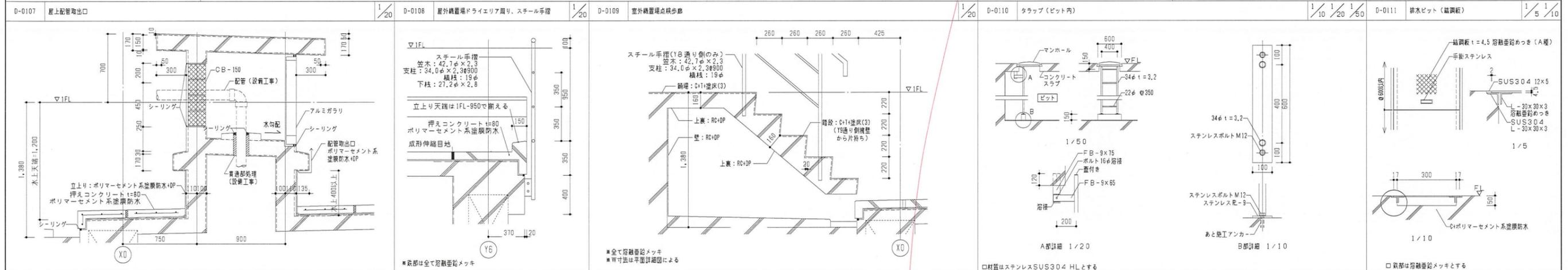
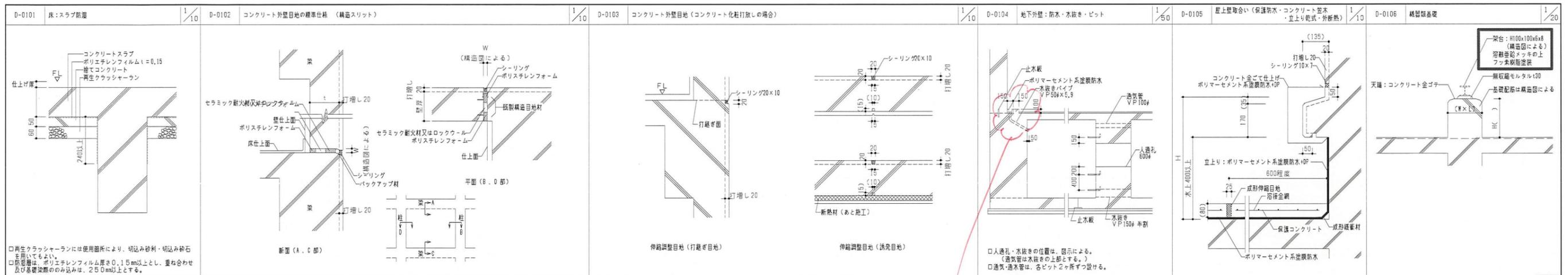
質問番号	図面番号	質 疑	回 答
9	M-4 M-7	屋外消火栓の仕様について、機器表には仕様は書かれていませんが、1階平面図の記号HB-20から国土交通省仕様の屋外消火栓箱(総合形)HB-20としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
10	M-4	排水用水中モーターポンプPD-1の運転方式に単独運転とありますが、2台2組の自動交互運転とするする必要はないでしょうか。	2台2組の自動交互運転としてください。
11	M-4 M-7	貯湯式電気温水器EW2-のについて、図番M-7の1階配管平面図右側の給湯室の電気温水器に機器番号がEW-1と書かれていますが、これをEW-2としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
12	M-4 M-9	器具表のオストメイト対応トイレパックの型番(ZPSA71C71WW)は汚物流しのみになります。平面図を確認するとハンディキャップトイレのため、コンパクトオストメイトパック(UAS81RDB1NW)としてよろしいでしょうか。	ハンディキャップトイレでもXPSA71C71WWは取り付けることが可能のため、設計図の通りとします。
13	M-4	MWC及びWWC1～4の洗面器水栓に水栓の型番しか入っておりません、洗面器本体の型番はMWC5同様にLS716として宜しいでしょうか。不可の場合洗面器型番の御指示をお願いします。	MWC及びWWC1～4の洗面器は、建築工事のため、水栓のみ給排水衛生設備工事となります。洗面器形状はA-115図を参照下さい。
14	M-5	外構図で柵番号⑬～⑳の排水管口径が配置図は200A、柵リストの接続配管径は250Aですが、放流先の下水本管が250Aですので配管サイズ200Aと考えてよろしいですか。	宜しいです。
15	M-5	水盤用配管HIVPは車寄せ下部埋設配管ですがトレンチ等必要ないと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
16	M-5	柵に接続するまでの屋外配管の地盤沈下対策は不要としてよろしいでしょうか。必要な場合詳細ご指示をお願いします。	M-7図注記を参照ください。
17	M-5	屋外散水栓はバルブ柵+ドーム型散水栓でよろしいですか。	宜しいです。

件名：

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
18	M-6	PD-2、PD-3用のバルブ、チャッキを地下1階床上に設置してもよろしいでしょうか	宜しいです。
19	M-6	PD-2、PD-3用のMH(観音開き)が必要かと思われます。建築工事で計上されるとしてよろしいでしょうか。	建築工事で計上ください。
20	M-5	制限区域内化粧室(aX1-aX4通り)の雑排水は、外壁より屋外の放流先が不明ですが、そのまま延長し、柵番号23に接続と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
21	M-6	B1階平面図で消火水槽用の補給水管に弁類がありません。消火水槽貯留時間を考慮して25Aとして電磁弁装置25A+間接給水口を設置することと考えてよろしいですか。	宜しいです。
22	M-6	B1階平面図で各排水水槽類の通気管がありません。機械室内で立ち上げて機械室内開放と考えてよろしいですか。	機械室内に立ち上げ、排気ガラリに接続としてください。
23	M-7	上記に関連して、1階平面図で柵番号①～⑧の排水管口径が平面図は200Aですが、柵リストの接続配管径は250Aです。放流先の下水本管が250Aですので配管サイズ200Aと考えてよろしいですか。	宜しいです。
24	M-8 M-9	便所詳細図(1)、便所詳細図(2)で汚水のメイン管80A、雑排水メイン管40Aと記載され、細いと思われます。それぞれ100A、50Aと考えてよろしいですか。(通気管の最小口径は40Aと致します)	設計図の通りとします。
25	M-10	便所詳細図(3)で制限区域内化粧室aX1-aX4の雑排水管のメイン口径が、掃除流しSK22Aがあるので40Aで細いと思われます。。メイン口径を80Aと考えてよろしいですか。	宜しいです。
26	M-11～13	水盤設備のメーカーをご教授願います。	仕様より想定願います。

件名：

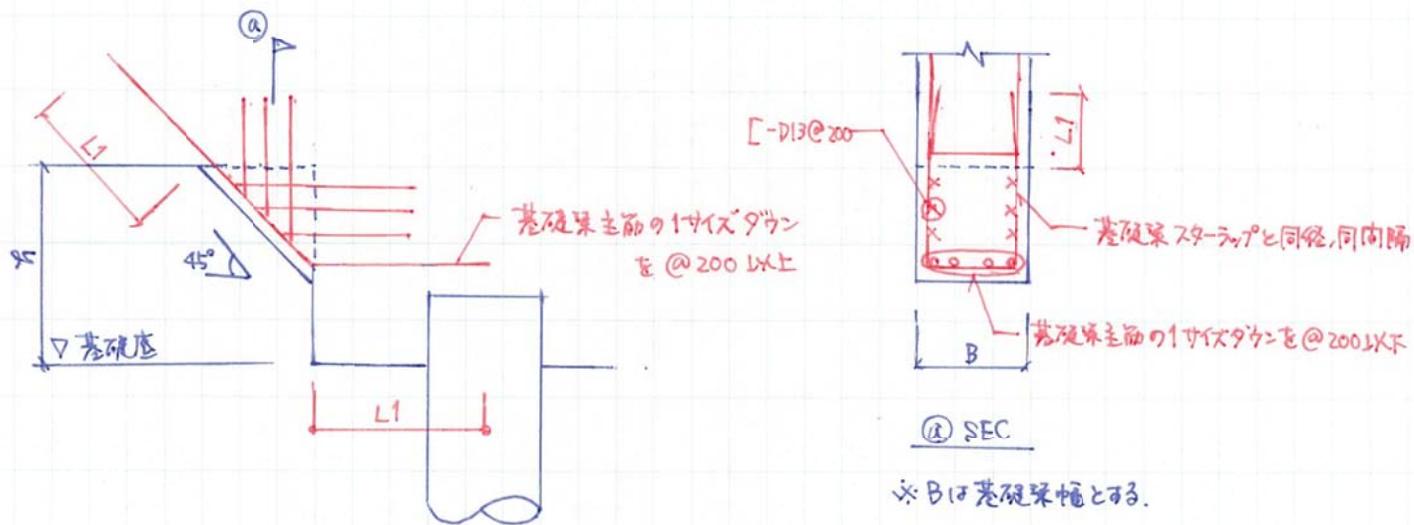
質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
27	M-12	水盤設備で各水盤にオーバーフロー用のピットが記載されておりますが、オーバーフローの配管の記載がありません。図示にて御指示をお願いします。	A-801図による他、別紙M①をご確認ください。
28	M-13	水盤設備詳細図(M-13)でろ過機の逆洗排水50φの放流先が不明ですが、雑排水槽へ放流することと考えてよろしいですか。	宜しいです。

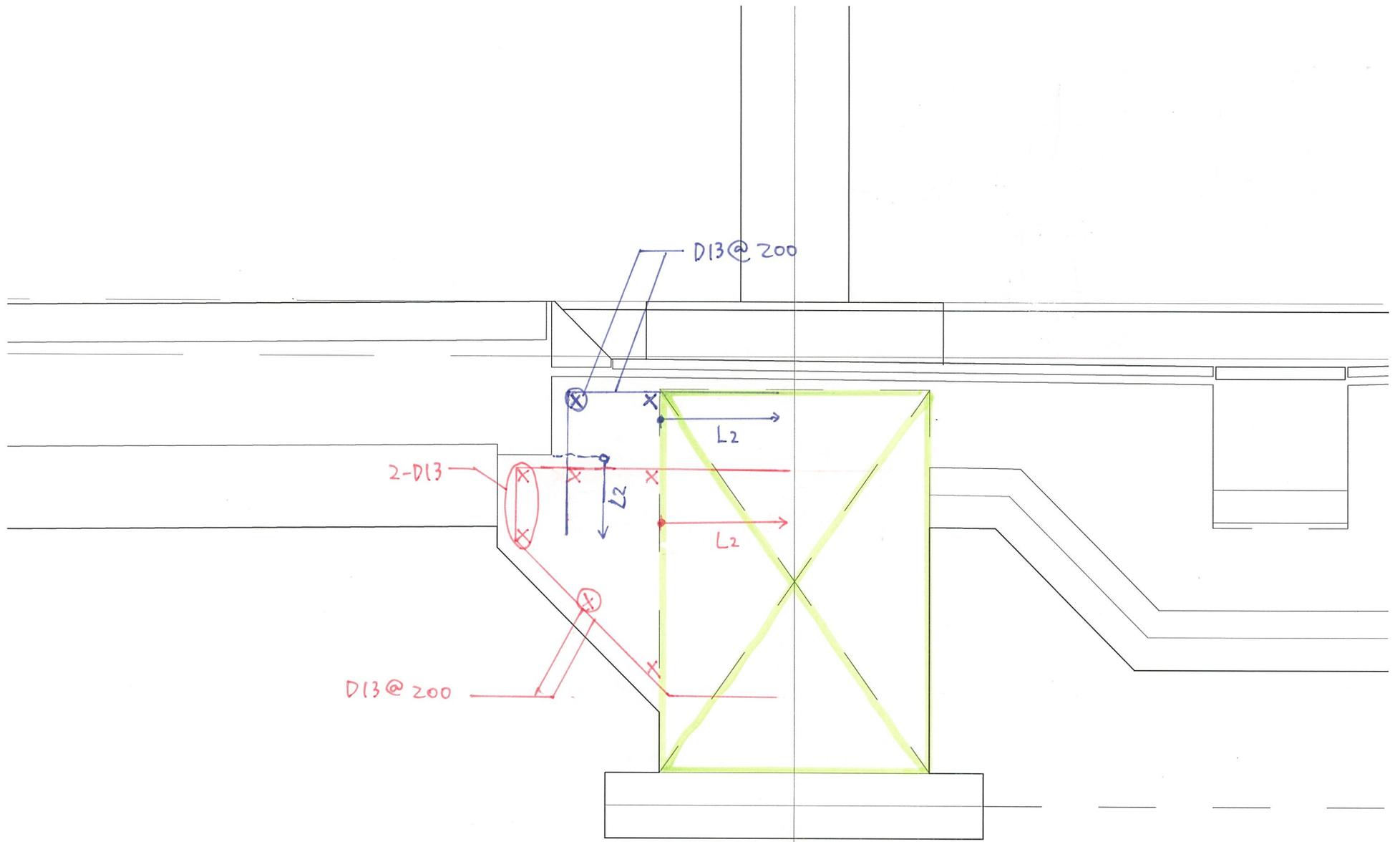


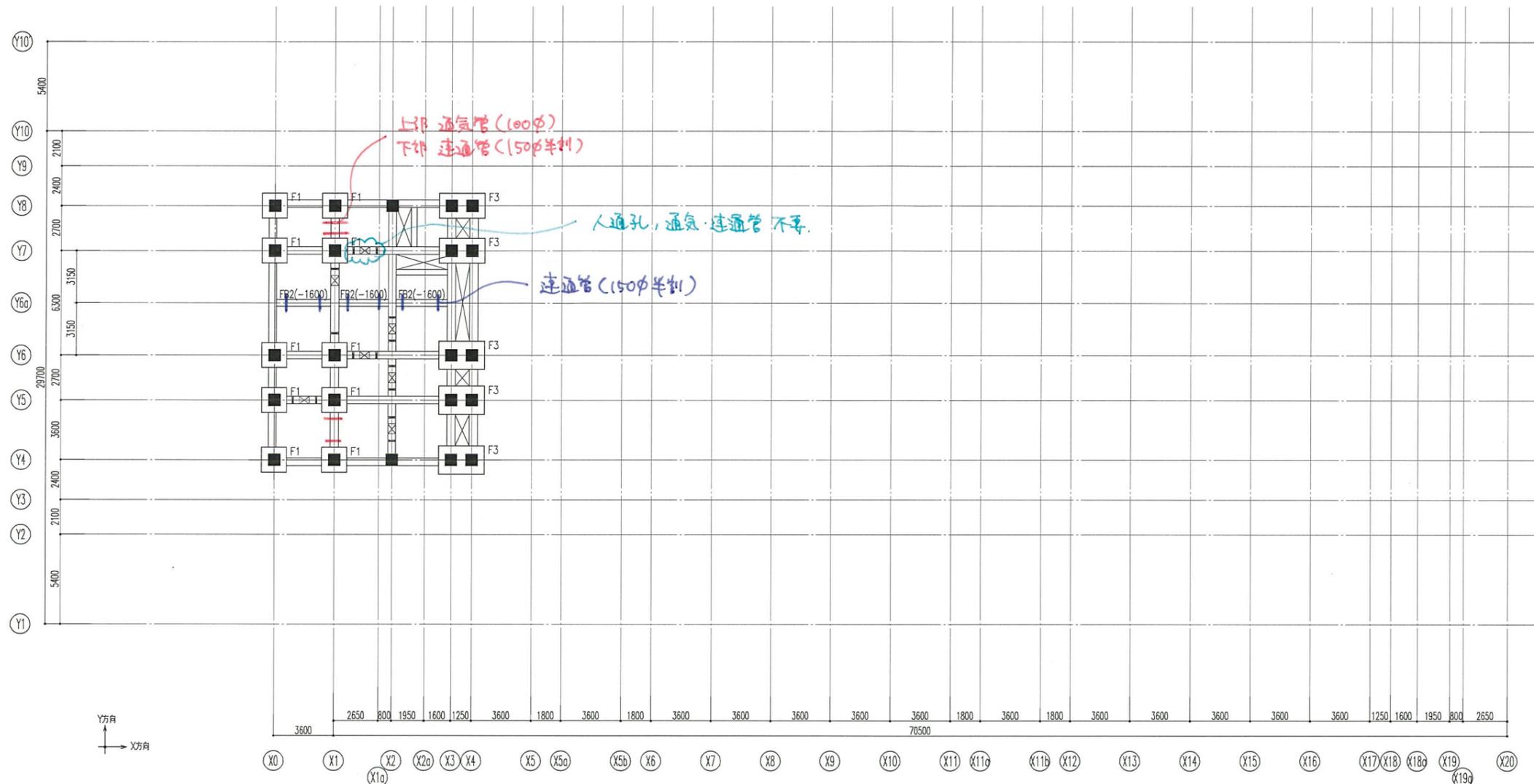
別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称 東京国際空港新貴賓室新築工事					
名称 雑詳細図 1					
平成30年 3月	単位 mm	尺度	A1: 1/図示 A3: 1/図示/2	図番	A - 301
調査員	松村 敬	設計者	株式会社 特設計		
調査員	馬場 威	設計者	一級建築士 第182771号		
調査員	大江 良太	設計者	管理技術者 永池 雅人		

7. バックレス補強要領







ビット伏図 S=1/150

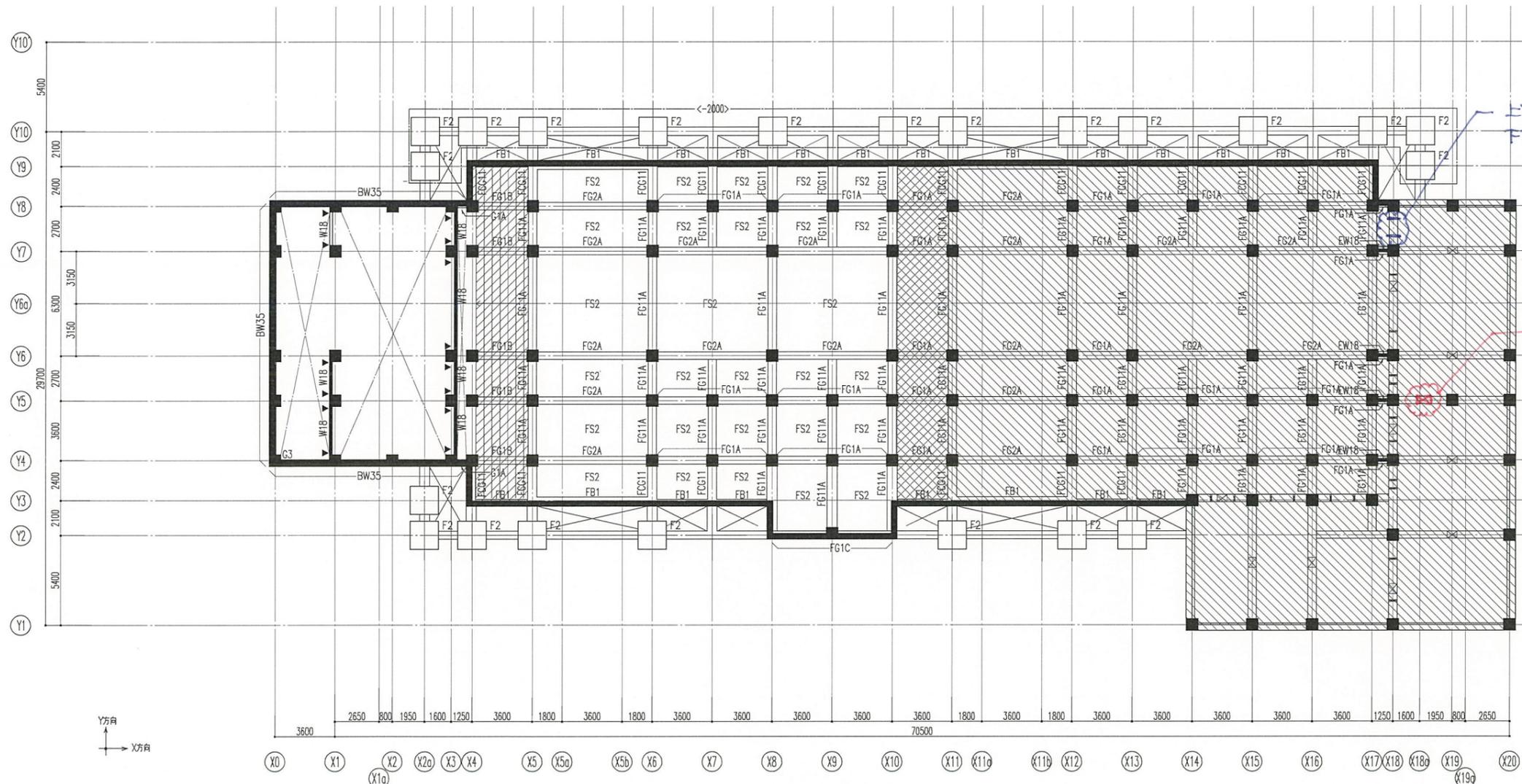
- 特記なき限り
1. 基礎下地レベル=設計CL-7600
 2. スラブ符号は FS1 とする。
 3. 印は埋戻しを示す。
 4. 印は人通孔(600φ)を示す。
 5. 印は上部: 通気管(100φ)
下部: 連通管(150φ半割)を示す。
 6. ()内数値はB1FLからの床天端レベルを示す。

特記なき限り、耐圧版レベルは下記による。

記号	床天端レベル
	B1FL-1900

別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事				
	ビット伏図				
調査員	総括調査職員 松村社敏 建築調査職員 馬上 威 建築調査職員 大江良太	設計者	株式会社 樟設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人	図番	S - 025
平成30年 3月	単位 mm	尺度 A1: 1/150 A3: 1/300			



上部 通気管(100φ)
下部 通気管(150φ半割)

人通孔

B1階+2600伏図 S=1/150

特記なき限り

1. 天端レベルはB1FL(=1FL-5100)を基準とする。
2. 基礎下端レベル=設計GL-2400
3. ()内数値は設計GLからの基礎下端レベルを示す。
4. スラブ符号は FS1 とする。
5. 小梁符号は FB1 とする。
6. 壁符号は BW35A とする。
7. □印は床開口を示す。
8. □印は埋戻しを示す。
- ▽印は溝蓋スリットを示す。
9. □印は人通孔(600φ)を示す。
10. □印は上部：通気管(100φ)
下部：通気管(150φ半割)を示す。

特記なき限り、床梁レベルは下記による。

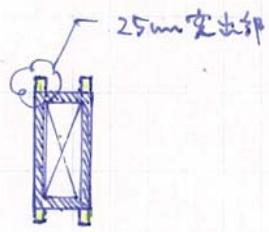
記号	床天端レベル	床天端レベル
□	B1FL+3290	B1FL+3290
□	B1FL+3290-B1FL+2590	B1FL+3290-B1FL+2590
□	B1FL±0-B1FL+2590	B1FL±0-B1FL+2590
□	B1FL+2590	B1FL+2590

床レベルに差が生じる場合の梁レベルは、低い方の梁レベルとする。

別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事				
	B1階+2600伏図				
調査員	松村社 松村社	設計者	松村社 松村社	図番	S - 027
	馬成 馬成		一級建築士 第182771号		
	大江良太		管理技術者 永池 雅人		

< X6通 >



▽1FL+4100

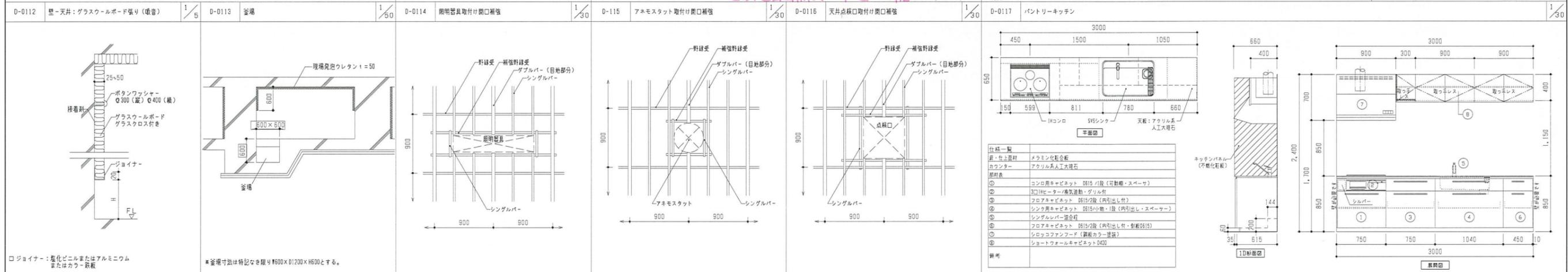
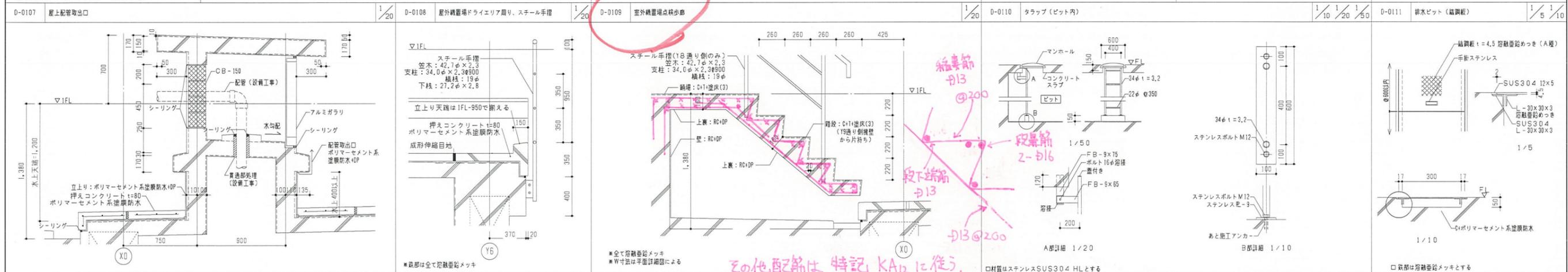
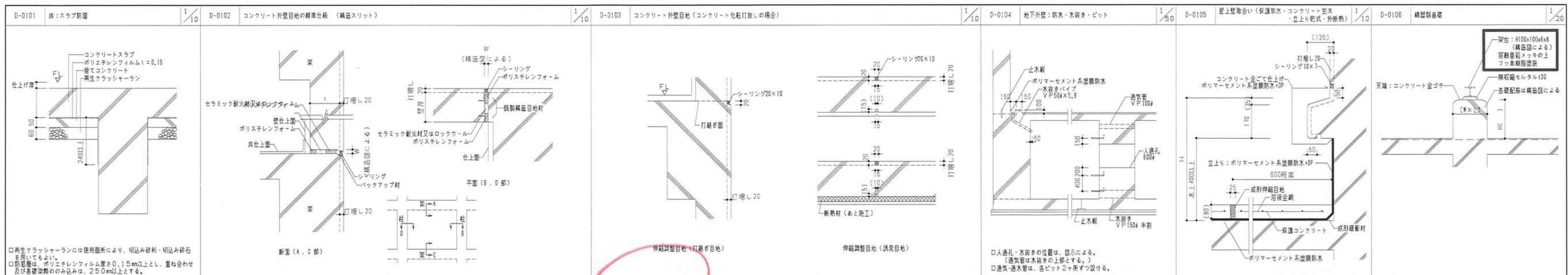
SG12
H-600X200X12X19

SG12B
BH-400X100X12X19

25mm 突出部

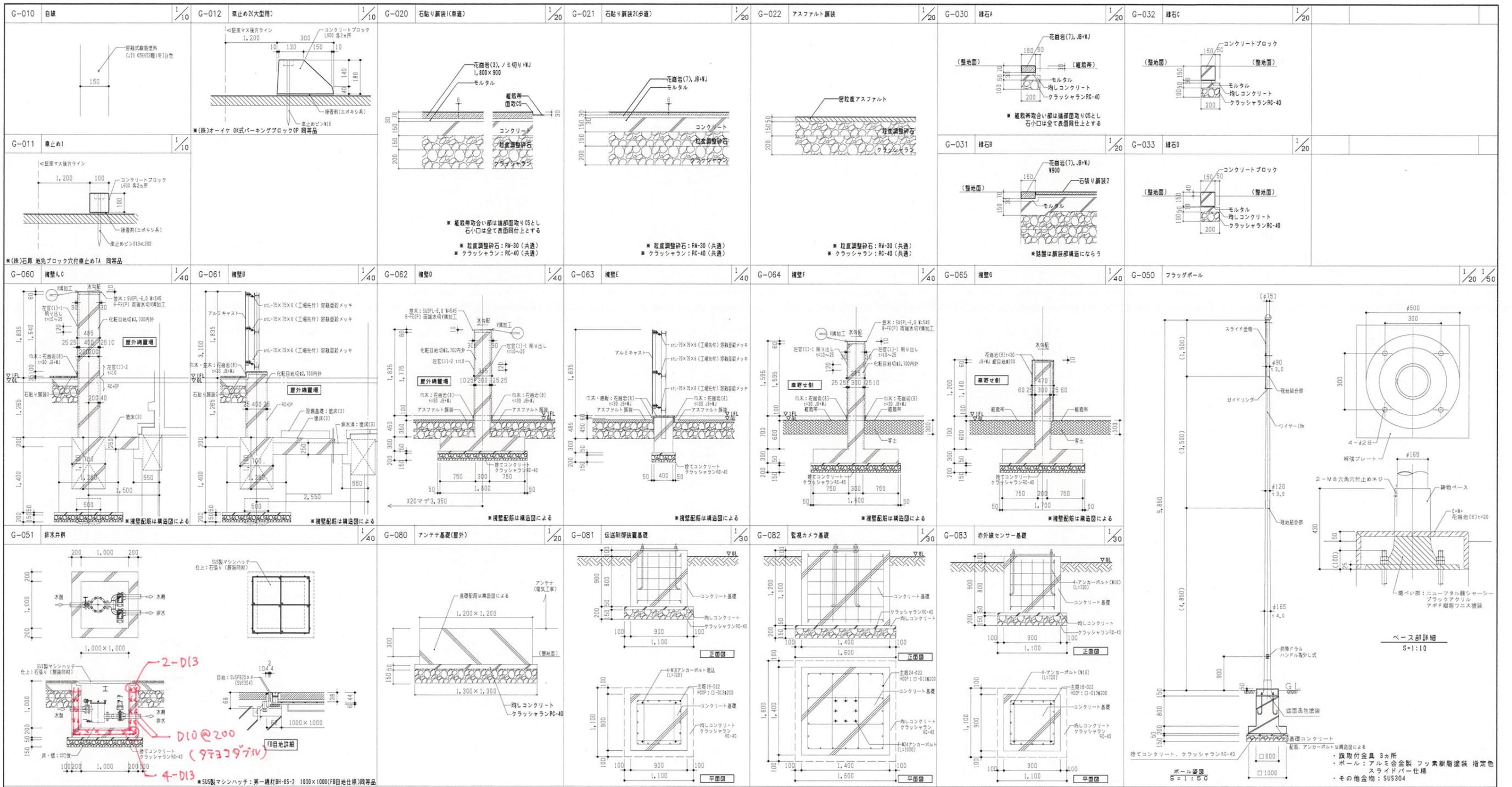
C3

Y3



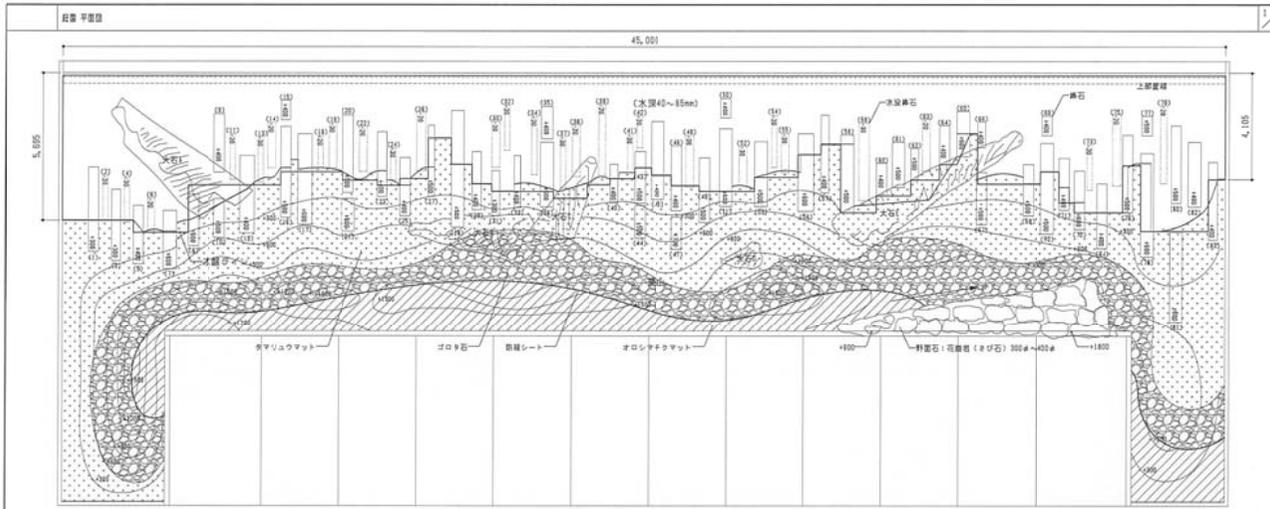
別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称 東京国際空港新貴賓室新築工事					
名称 雑詳細図1					
平成30年3月	単位 mm	尺度	A1: 1/図示 A3: 1/図示/2	図番	A - 301
調査員	総括調査職員 松村壮哉 建築調査職員 馬ノ上 威 建築調査職員 大江良木	設計者	株式会社 特設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人		



別紙S

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室				
東京国際空港新貴賓室新築工事				
外構詳細図3				
平成30年 3月	単位	mm	尺度	A1: 1/30 A3: 1/60
調査員	総括調査員 松村社敏 建築調査員 馬山 威 建築調査員 大江良太	設計者	株式会社 特設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人	図番 A - 704

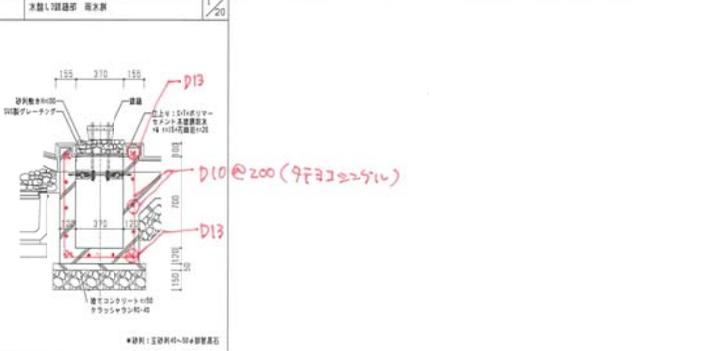
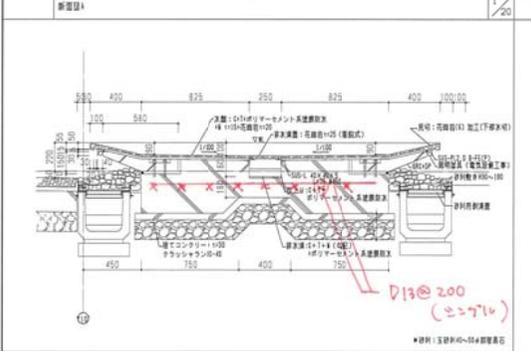
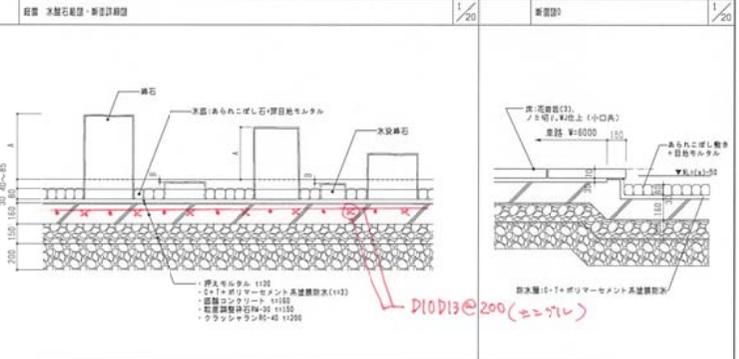
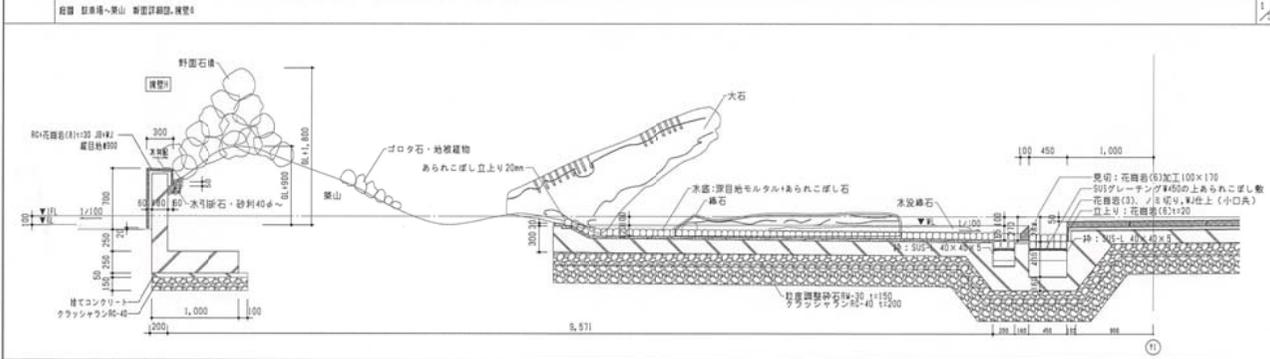
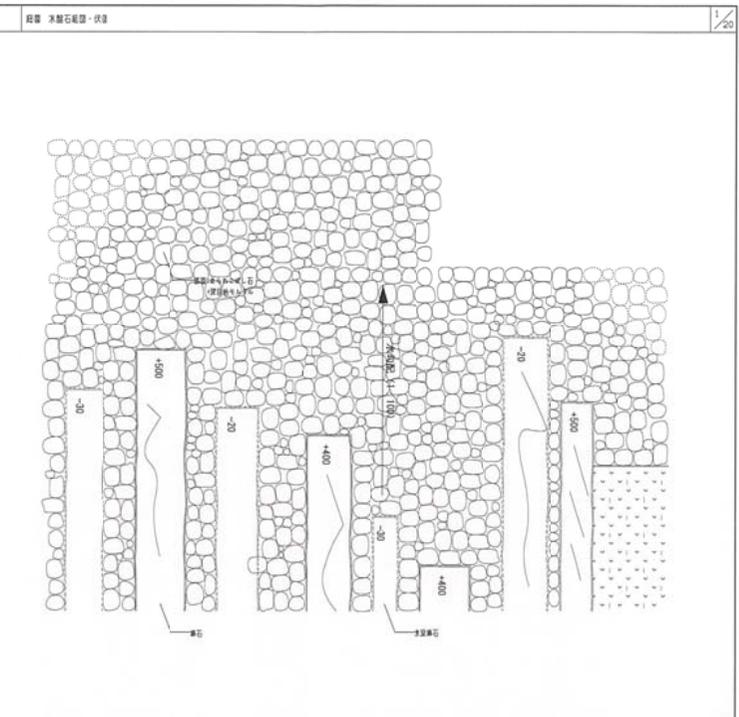
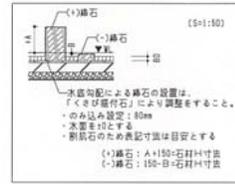


大石: 花川あかけ崩れ(セリ尖砕片)
 礫石: 水没礫石: 野面石崩れ(濃黄ウツセ砕片)
 あられこぼし石: 真鍮石約φ~150φH=80
 (空家の底は150φH=80)
 野面石: きび石300φ~400φ
 崩山
 ゴロタ石: きび石60φ~100φ
 オロシチマツト
 タマリョウマツト

大石リスト(濃黄)
 A B1 B 7t C 4t D 2t E 8t

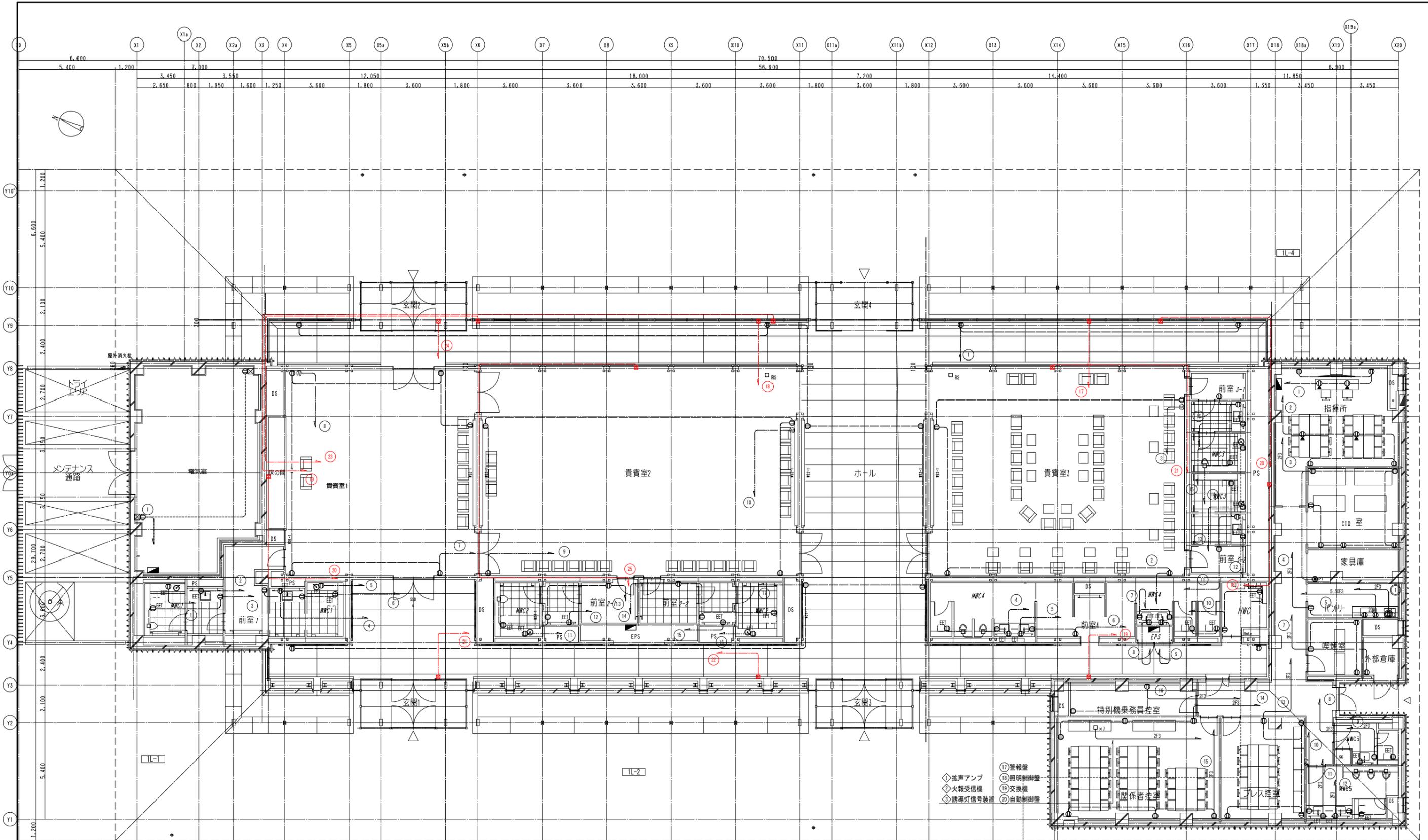
礫石リスト(濃黄×L寸法)

(1)400×450 L=3200,	(12)350×550 L=3000,	(26)350×130 L=2200,	(31)250×130 L=1700,	(53)500×650 L=2500,	(64)400×550 L=2000,	(75)300×130 L=2700,	(83)350×650 L=3000,
(2)300×130 L=1800,	(13)250×120 L=2000,	(27)250×650 L=2700,	(4)300×850 L=1500,	(54)200×130 L=2000,	大石下あり	(84)300×650 L=3000,	(85)300×650 L=3000,
(3)300×450 L=2700,	(14)300×130 L=1800,	(28)300×650 L=4800,	(4)200×120 L=1500,	(55)300×120 L=1500,	(65)300×650 L=700,	(77)400×650 L=700,	(78)400×650 L=700,
(4)200×120 L=1800,	(15)300×550 L=700,	(29)350×650 L=2200,	(4)200×130 L=1200,	(56)600×750 L=3000,	大石下あり	(81)500×750 L=4000,	(82)250×130 L=3000,
(5)400×550 L=2300,	(16)400×650 L=3500,	(30)300×130 L=1800,	(4)200×650 L=2000,	(57)300×650 L=3000,	(66)300×550 L=1700,	(79)250×130 L=3000,	(80)350×650 L=3000,
(6)250×130 L=1500,	(17)350×750 L=3500,	(31)300×490 L=1600,	(4)400×600 L=1200,	(58)500×650 L=3000,	大石下あり	(81)600×650 L=3000,	(81)600×750 L=3000,
(7)800×750 L=2500,	(18)250×130 L=1200,	(32)250×130 L=1700,	(4)500×550 L=3000,	(59)400×120 L=9000,	(67)400×650 L=2000,	(81)600×750 L=3000,	(81)600×750 L=3000,
(8)400×650 L=3500,	(19)350×120 L=1800,	(33)250×130 L=2000,	(4)300×850 L=1500,	(60)400×650 L=1500,	(68)400×650 L=2000,	(82)400×650 L=3400,	(82)400×650 L=3400,
大石下あり	(20)400×650 L=3000,	(34)200×130 L=2200,	(4)400×800 L=1200,	大石下あり	(69)350×550 L=700,	(83)300×500 L=2700,	(83)300×500 L=2700,
(9)350×650 L=3000,	(21)350×800 L=1200,	(35)450×550 L=1200,	(4)300×120 L=2000,	(61)500×650 L=2000,	(71)500×650 L=3500,		
大石下あり	(22)350×120 L=1800,	(36)350×750 L=4000,	(4)300×650 L=2000,	(62)300×650 L=1500,	(72)400×750 L=3000,		
(10)400×650 L=2000,	(23)300×550 L=2500,	(37)200×120 L=2200,	(5)400×550 L=3000,	(63)300×650 L=1500,	(73)200×130 L=1700,		
大石下あり	(24)250×120 L=1500,	(38)300×130 L=2500,	(5)350×750 L=3000,	大石下あり	(74)200×130 L=1700,		
(11)200×130 L=2000,	(25)400×550 L=2200,	大石下あり	(5)200×120 L=1700,	(63)300×130 L=2000,	(74)400×550 L=4500,		



別紙S⑧

国土交通省 東京航空局 空港部 建築室				
東京国際空港新貴賓室新築工事				
外構詳細図 4				
平成30年 3月	単位	mm	尺	A1: 1/30 A3: 1/60
図	概略図	設計	株式会社 神設計	図
表	建築設計	設計	一級建築士 藤(12771)号	表
説	建築設計	設計	管理技術者 赤池 龍人	説



記号	名称	備考	記号	名称	備考
□	分電盤		—	天井隠ぺい配線	
○	ジョイントボックス		—	床隠ぺい配線	
□RS	ジョイントボックス	ローハクリン	—	露出配線	
①	コンセント壁付	2P15AE付×2	①	回路番号	100V
②	コンセント壁付	2P20AE付×1 ET付	②	回路番号	200V
③	コンセント壁付	2P15AE付×1 ET付			
④	コンセント壁付-200V	2P15AE付×1 ET付 200V			
⑤	コンセント床付-BOX付	2P15AE付×2			
⑥	ワン接続コンセント	2P15AE付×1 ET付			
⑦	ジョイントボックス(電動ロールスクリーン用)	ブラインド工事			

電灯(コンセント分岐)設備 1階配線図 S=1/100

注記
 1. 特記なき配管配線は下記による。
 EM-IE2.0×2 E1.6 (PF16)
 EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 S.50E3 EM-CE5.5" -3C 保護管 (PF22)
 IE2.0×2E1.6 (G16)
 2. 間仕切り壁内の立上り部分には保護管を設ける。

別紙E

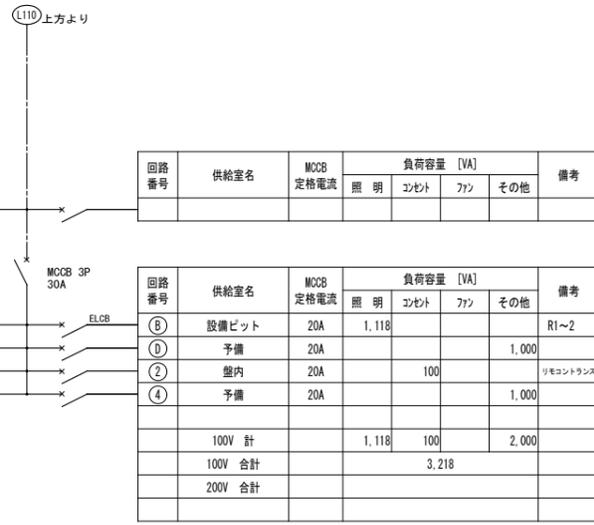
国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課					
東京国際空港新貴賓室新築工事					
電灯設備(コンセント分岐) 1階配線図					
平成29年 3月	単位	mm	尺度	A1: 1/100 A3: 1/200	図番 E-09
調査職員	電気設備調査職員 江波戸 義得	設計	株式会社 梓設計	一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人	
職員	電気設備調査職員 岡本 寿	設計			

盤名称	B1L-1	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L110	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
負荷容量 (VA)	電圧	100/200
	定格電流	30A
主幹器具	遮断電流	2.5kA以上

※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
	10				20A	誘導灯	◇

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
R1~3				390	20A	空調機械室	Ⓐ
R1~2				870	20A	設備ビット	Ⓒ
		300			20A	空調機械室	①
	1,000				20A	予備	③
				1,260		100V 計	
	2,560					100V 合計	
						200V 合計	
				5,778		負荷容量	



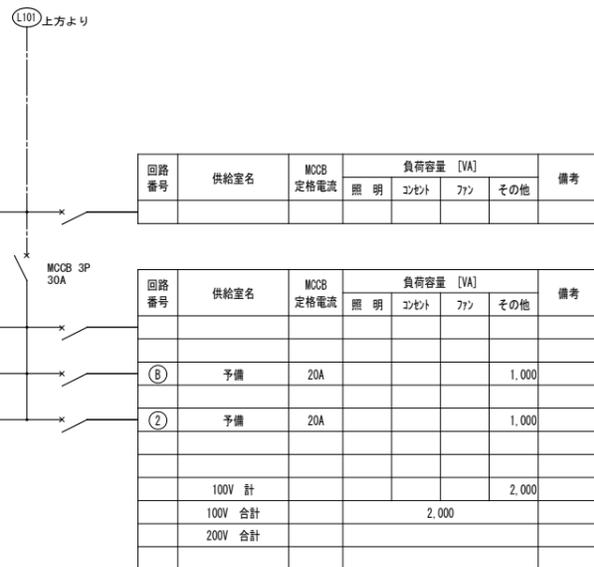
リモコントランス ×1
T/U 4回路用 ×2

盤名称	1L-1	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L101	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
負荷容量 (VA)	電圧	100/200
	定格電流	30A
主幹器具	遮断電流	2.5kA以上

※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
	10				20A	誘導灯	◇

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
	10				20A	非常照明	△
				226	20A	電気室	Ⓐ
		200			20A	電気室	①
				236		100V 計	
	436					100V 合計	
						200V 合計	
				2,436		負荷容量	

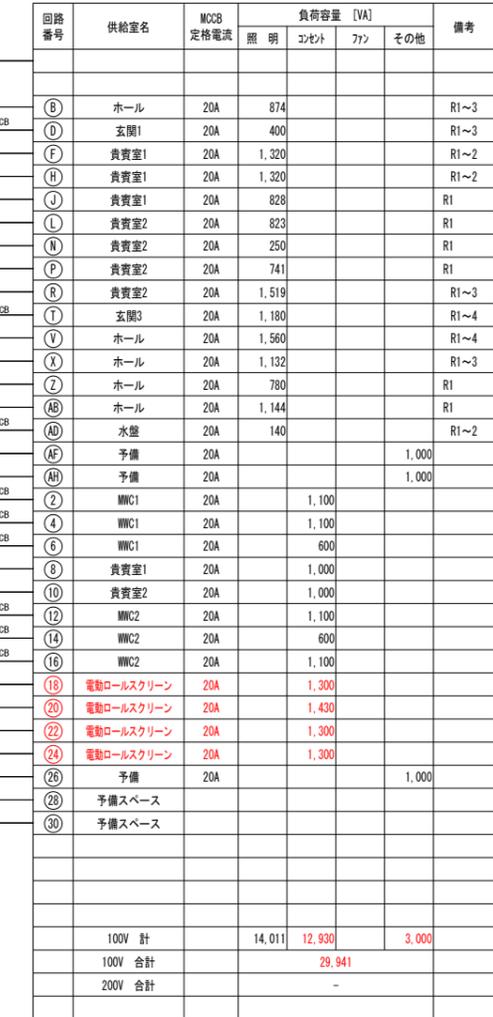


盤名称	1L-2	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L102	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
負荷容量 (VA)	電圧	100/200
	定格電流	300A
主幹器具	遮断電流	2.5kA以上

※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
	10				20A	誘導灯	◇

備考	負荷容量 [VA]				MCCB 定格電流	供給室名	回路 番号
	照明	コンセント	ファン	その他			
				90	20A	非常照明	△
R1~2				680	20A	前室2-1	Ⓐ
R1				571	20A	MWC1	Ⓒ
R1~3				824	20A	貴賓室1	Ⓔ
R1				906	20A	貴賓室1	Ⓔ
R1~2				524	20A	貴賓室1	Ⓔ
R1~2				1,200	20A	貴賓室2	Ⓚ
R1~2				1,200	20A	貴賓室2	Ⓚ
R1~2				1,170	20A	貴賓室2	Ⓚ
R1~2				1,080	20A	貴賓室2	Ⓚ
R1				958	20A	ホール	Ⓢ
R1				1,144	20A	ホール	Ⓢ
R1~3				818	20A	ホール	Ⓢ
R1				639	20A	ホール	Ⓢ
R1~3				400	20A	玄関4	ⓐ
R1~4				434	20A	玄関2	ⓐ
	1,000				20A	予備	ⓐ
	1,000				20A	予備	ⓐ
				1,100	20A	MWC1	①
				510	20A	MWC1	③
				1,100	20A	MWC1	⑤
				500	20A	貴賓室1	⑦
				400	20A	貴賓室2	⑨
				1,100	20A	MWC2	⑪
				610	20A	MWC2	⑬
				1,100	20A	MWC2	⑮
				700	20A	ホール	⑰
				1,530	20A	電動ロールスクリーン	⑲
				1,430	20A	電動ロールスクリーン	⑲
				1,530	20A	電動ロールスクリーン	⑲
				1,530	20A	電動ロールスクリーン	⑲
				1,530	20A	電動ロールスクリーン	⑲
	1,000				20A	予備	⑲
						予備スペース	⑲
				3,000		100V 計	
				28,778		100V 合計	
				-		200V 合計	
				58,719		負荷容量	



リモコントランス ×1
T/U 4回路用 ×16

凡例

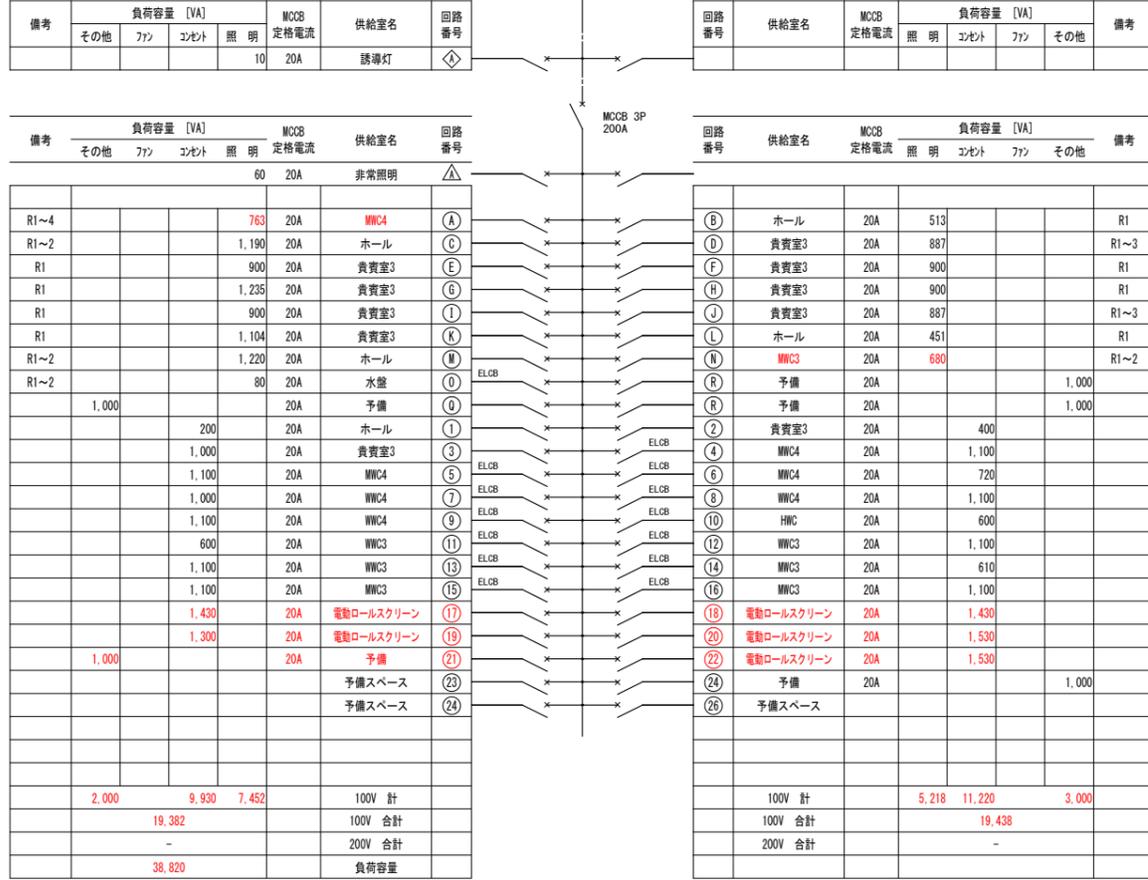
R	リモコンリレー	2P20A
○	回路番号	100V
○	回路番号	200V
◇	回路番号	100V 誘導灯
△	回路番号	100V 非常照明
—x—	配線用遮断器	MCCB 2P1E
—x—	配線用遮断器	MCCB 2P2E
—x— ELCB	配線用遮断器	ELCB 2P1E
—x— ELCB	配線用遮断器	ELCB 2P2E

別紙E

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課					
東京国際空港新貴賓室新築工事					
分電盤結線図(1)					
平成29年 3月	単位	mm	尺度	A1: - A3: -	図番 E - 10
調査員	電気設備調査職員 江波戸 義得 電気設備調査職員 岡本 寿	設計者	株式会社 梓設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人		

盤名称	1L-3	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L104	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	100/200
負荷容量 (VA)	38,820	
主幹器具	定格電流	200A
	遮断電流	2.5kA以上

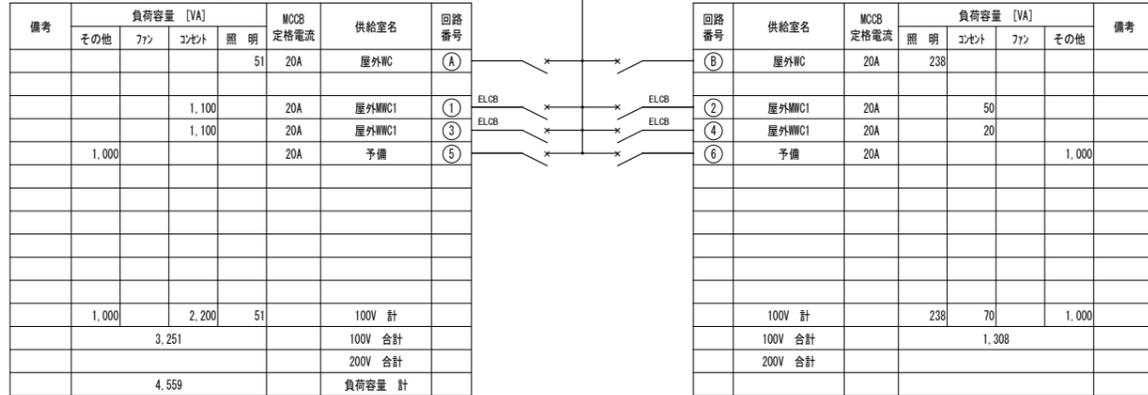
※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。



リモコントランス ×1
T/U 4回路用 ×7

盤名称	1L-5	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L108	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	100/200
負荷容量 (VA)	4,559	
主幹器具	定格電流	40A
	遮断電流	2.5kA以上

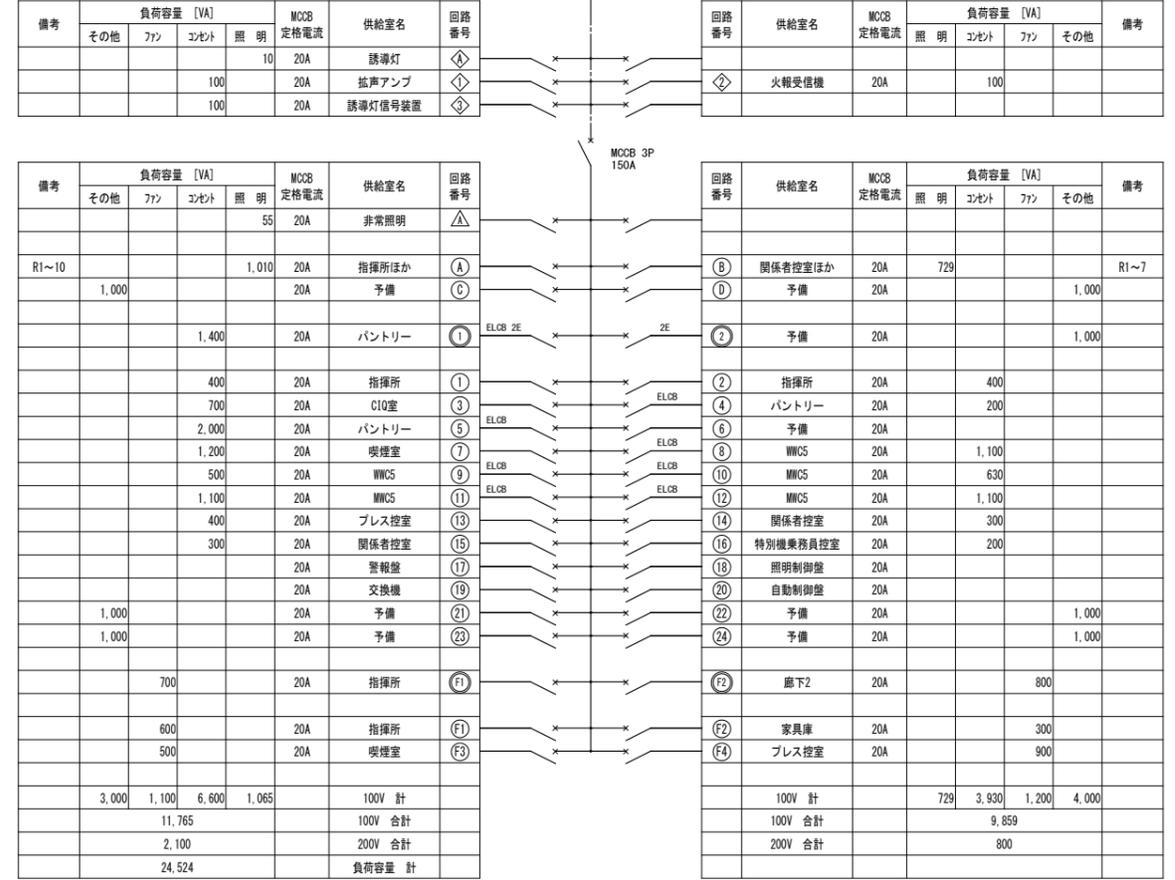
※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。



リモコントランス ×1
T/U 4回路用 ×5

盤名称	1L-4	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L106	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	100/200
負荷容量 (VA)	24,524	
主幹器具	定格電流	150A
	遮断電流	2.5kA以上

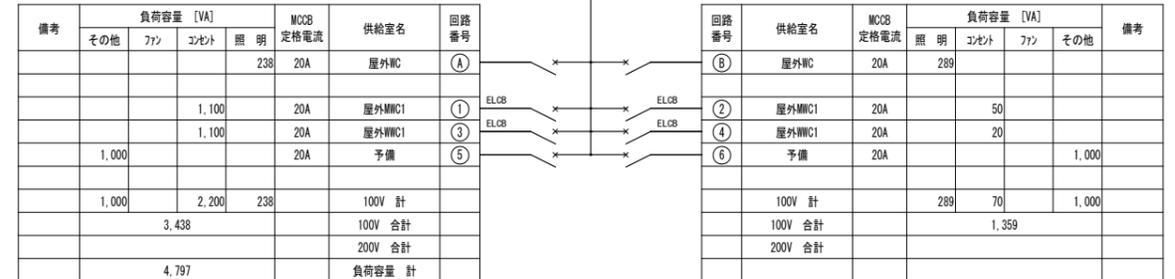
※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。



伝送ユニット ×1
リモコントランス ×1
T/U 4回路用 ×5

盤名称	1L-6	
キャビネット型式	T	
幹線番号	L109	
電気方式	種別	常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	100/200
負荷容量 (VA)	4,797	
主幹器具	定格電流	40A
	遮断電流	2.5kA以上

※MCCB20AはJIS協約型IPサイズで2Pのものとする。



国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課

名 東京国際空港新貴賓室新築工事

称 分電盤結線図(2)

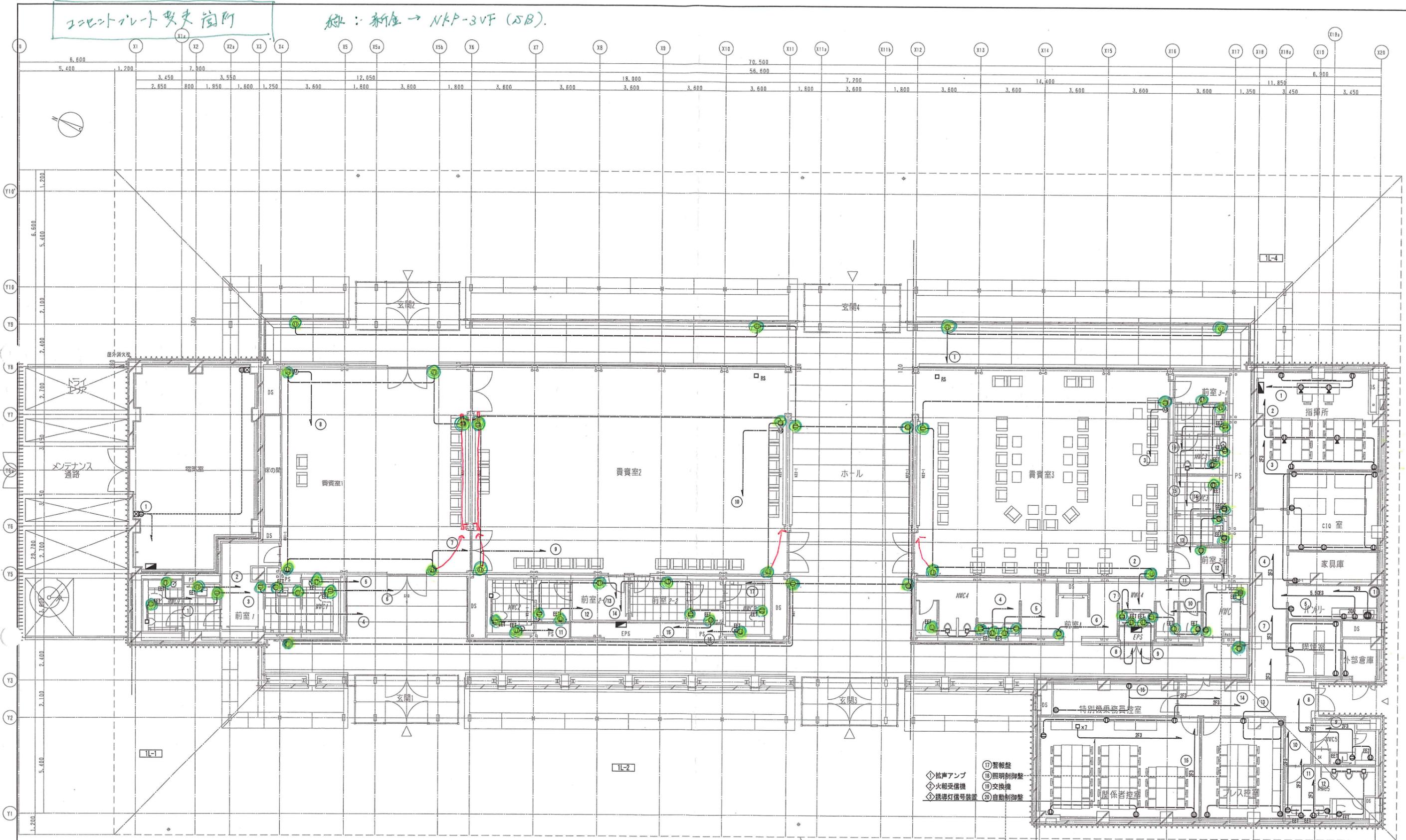
平成29年 3月 単位 mm 尺度 A1: - 図番 E - 11 A3: -

調査員 電気設備調査職員 江波戸 義博 設計者 株式会社 梓設計 電気設備調査職員 岡本 勇 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人

別紙E

コンセント・レド型天井

標：新座 → NKP-3VF (5B).



- ◇ 拡声アンプ
- ◇ 火報受信機
- ◇ 誘導灯信号装置
- ① 警報盤
- ② 照明制御盤
- ③ 交換機
- ④ 自動制御盤

記号	名称	備考
■	分電盤	
□	ジョイントボックス	
□RS	ジョイントボックス	D-1771-7
①	コンセント壁付	2P15AE付×2
②20A	コンセント壁付	2P20AE付×1 ET付
③ET	コンセント壁付	2P15AE付×1 ET付
④	コンセント壁付-200V	2P15AE付×1 ET付 200V
⑤	コンセント床付-BOX付	2P15AE付×2
⑥	カゴ接続コンセント	2P15AE付×1 ET付

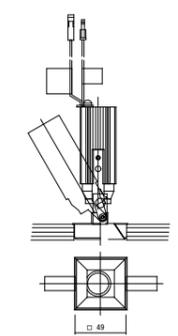
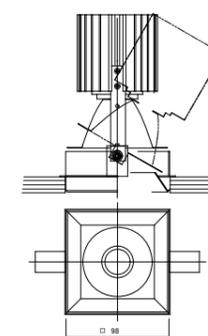
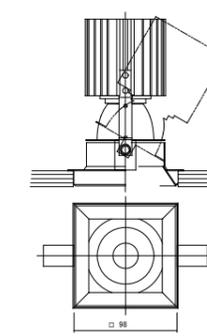
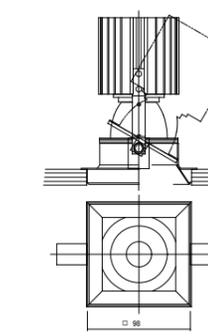
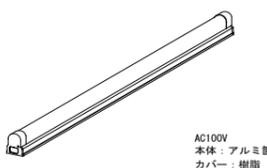
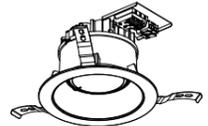
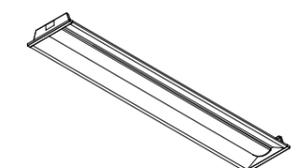
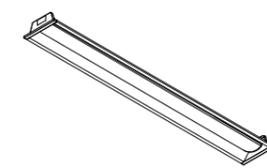
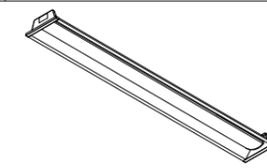
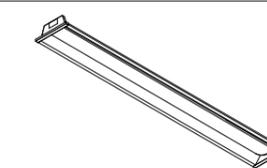
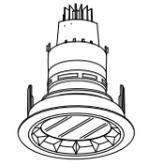
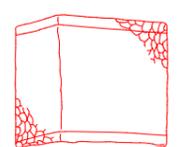
記号	名称	備考
—	天井隠ぺい配線	
—	床隠ぺい配線	
—	露出配線	
—	ビッド隠ぺい配線	
①	回路番号	100V
②	回路番号	200V

電灯 (コンセント分岐) 設備 1階配線図 S=1/100

- 注記
- 特記なき配管配線は下記による。
 - EM-IE2.0×2 E1.6 (PF16)
 - EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 - EM-EEF2.0-3C 保護管 (PF22)
 - EM-CE5.5' -3C 保護管 (PF22)
 - IE2.0×2E1.6 (G16)
 - 間仕切り壁内の立上り部分には保護管を設ける。

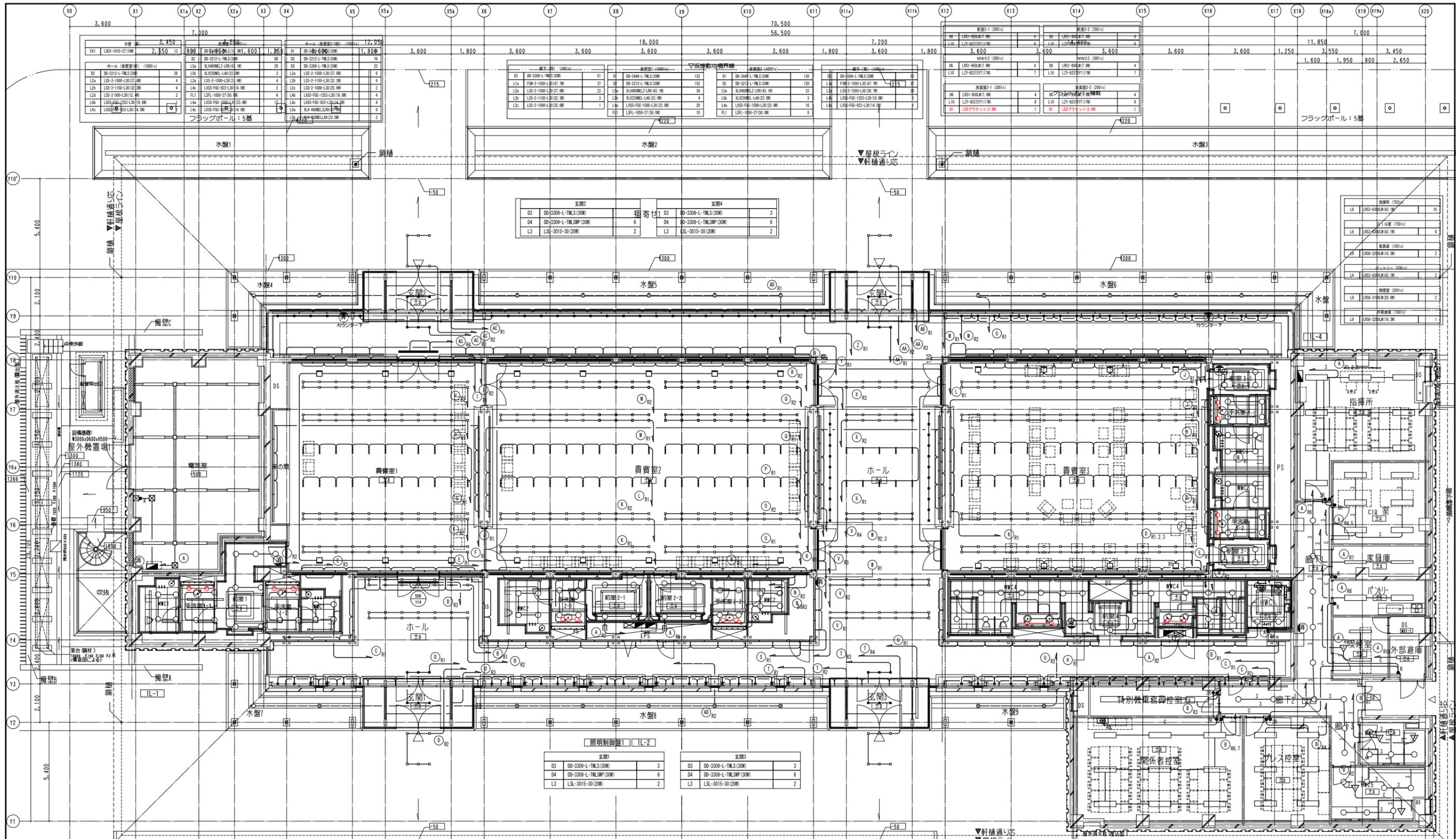
別紙E

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課			
東京国際空港新貴賓室新築工事			
電灯設備(コンセント分岐) 1階配線図			
平成29年 3月	単位 mm	尺度 A1: 1/100 A3: 1/200	図番 E-09
調査員 電気設備調査員 江波戸 義博	設計者 株式会社 神設計		
職員 電気設備調査員 岡本 寿	設計者 一般建築士 第182771号		
	管理技術者 永池 雅人		

D1	LED 10.3W (3000K)	D2	LED 30W (3000K)	D3	LED LED 30W (3000K)	D4	LED 30W (3000K)	L1a	LED 47.7W (3000K)	L=1500mm	L2a	LED 37.6W (3000K)	L=1500mm
													
	1/2配光角 25° 器具光束 411(lm) 定格電圧 100~242V 色温度 3000(K) 演色評価Ra83 □50 DD-3449-L-TMLS相当品	1/2配光角 15° 器具光束 1470(lm) 定格電圧 100~242V 色温度 3000(K) 演色評価Ra83 □100 DD-3212-L-TMLS相当品	1/2配光角 24° 器具光束 1506(lm) 定格電圧 100~242V 色温度 3000(K) 演色評価Ra83 □100 DD-3309-L-TMLS相当品	1/2配光角 24° 器具光束 1506(lm) 定格電圧 100~242V 色温度 3000(K) 演色評価Ra83 防滴仕様 □100 DD-3309-L-TMLS相当品				AC100V 本体：アルミフレーム カバー：乳半樹脂 PWM調光対応 最大連続長さ：5m L1a: FSW-2-1500-L30相当品 L1b: FSW-2-1250-L30相当品			AC100V 本体：アルミ筐体 カバー：樹脂 PWM調光対応 L2a: LSS-2-1500-L30相当品 L2b: LSS-2-1150-L30相当品 L2c: LSS-2-1000-L30相当品 L2d: LSS-2-500-L30相当品		
L4a	LED 23.8W (3000K)	L=1500mm	L5a	LED 43.1W (3000K)	L=1225mm	D5	LED 13.3W (5000K)	D6	LED 7.9W (5000K)	L6	LED 43.1W (5000K)	L7	LED 32.5W (5000K)
L4b	LED 19.8W (3000K)	L=1253mm	L5b	LED 23.0W (3000K)	L=607mm								
L4c	LED 14.5W (3000K)	L=923mm				埋込穴径：φ150 器具寸法：径φ169×高98 本体：アルミダイカスト 枠：樹脂：バージンポホワイト 定格電圧：AC100~242V 調光信号用端子台付 質量：0.8kg 調光可能（約5~100%） LRS1-1400LM相当品	埋込穴径：φ150 器具寸法：径φ169×高98 本体：アルミダイカスト 枠：樹脂：バージンポホワイト 定格電圧：AC100~242V 調光信号用端子台付 質量：0.8kg 調光可能（約5~100%） LRS1-950LM相当品	LED（昼白色） 寸法：幅220×1,235×高65（埋込穴寸法） 本体：鋼板 白 LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V~242V 調光タイプ：初期照度補正形 調光信号用端子台付（LEKR422692N-LD9の場合のみ） 質量：2.7kg LEDベースライト 埋込形 下面開放 幅220 LRS3-6300LM相当品	LED（昼白色） 寸法：幅150×1,235×高65（埋込穴寸法） 本体：鋼板 白 LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V~242V 調光タイプ：初期照度補正形 調光信号用端子台付 質量：2.5kg LEDベースライト埋込形 下面開放 幅150 LRS6-4750LM相当品				
L8	LED 20.6W (5000K)		L9	LED 16.3W (5000K)		L10	LED 17W (3000K)	L11	LED 19.2W (5000K)	L12	LED 29.0W (5000K)	L13	LED 32.5W (5000K)
													
	LED（昼白色） 寸法：幅150×1,235×高65（埋込穴寸法） 本体：鋼板 白 LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V~242V 非調光 質量：2.5kg LEDベースライト埋込形 下面開放 幅150 LRS6-3100LM相当品		LED（昼白色） 寸法：幅150×1,235×高65（埋込穴寸法） 本体：鋼板 白 LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V~242V 非調光 質量：2.5kg LEDベースライト埋込形 下面開放 幅150 LRS6-2250LM相当品		LED（電球色） 寸法：幅25×1,200×高32 本体：鋼板 白 定格電圧：AC100V~242V 定格光束：1360LM LZY-9237YT 相当品		防湿型・防雨型 5000K、Ra83 器具光束1640lm、消費電力19.2W、電圧100~242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁面付型 光源寿命40000時間（光束維持率85%） NFW21810LE9 相当品		一般タイプ、3000lmタイプ、消費電力：29.0W 定格出力型、電圧100~242V 本体：ステンレス（電球色白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間 昼白色（5000K）、Ra83、IP23防湿型 LSS1MP/PP-3000LM相当品		一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力32.5W、定格出力型、電圧100~242V 約5~100%連続調光型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 LSS1-4900LM相当品		
D7	LED 17.0W (3000K)	B2	LED 6.5W (2700K)										
													
	埋込穴径：φ100 入力電圧：100V 光源光束：1156~1432lm 質量：0.67kg MOD-P1352DR 相当品	LED（電球色） 寸法：巾口115 出85 本体：ガラス（ケン・部分透明） LEDバー：ポリカーボネート 乳白 定格電圧：AC100V~242V 非調光 質量：1.1kg LEDブラケット OB255190相当品											

別紙E

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課						
名	東京国際空港新貴賓室新築工事					
称	照明器具図(1)					
平成29年 3月	単位	mm	尺度	A1: - A3: -	図番	E - 03
調査員	電気設備調査職員 江波戸 義得 電気設備調査職員 岡本 寿	設計者	株式会社 梓設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人			



水盤 (西)	電気室 (1000x)	前室1 (200x)	前室2-1 (200x)	前室2-2 (200x)	前室4 (200x)	MWC1 (200x)	洗濯室1-1 (200x)	洗濯室2-1 (200x)	洗濯室2-2 (200x)	洗濯室1 (200x)	洗濯室2 (200x)	洗濯室3 (200x)	洗濯室4 (200x)	洗濯室5 (200x)	洗濯室6 (200x)	洗濯室7 (200x)	洗濯室8 (200x)	洗濯室9 (200x)	洗濯室10 (200x)	洗濯室11 (200x)	洗濯室12 (200x)	洗濯室13 (200x)	洗濯室14 (200x)	洗濯室15 (200x)	洗濯室16 (200x)	洗濯室17 (200x)	洗濯室18 (200x)	洗濯室19 (200x)	洗濯室20 (200x)	洗濯室21 (200x)	洗濯室22 (200x)	洗濯室23 (200x)	洗濯室24 (200x)	洗濯室25 (200x)	洗濯室26 (200x)	洗濯室27 (200x)	洗濯室28 (200x)	洗濯室29 (200x)	洗濯室30 (200x)	洗濯室31 (200x)	洗濯室32 (200x)	洗濯室33 (200x)	洗濯室34 (200x)	洗濯室35 (200x)	洗濯室36 (200x)	洗濯室37 (200x)	洗濯室38 (200x)	洗濯室39 (200x)	洗濯室40 (200x)	洗濯室41 (200x)	洗濯室42 (200x)	洗濯室43 (200x)	洗濯室44 (200x)	洗濯室45 (200x)	洗濯室46 (200x)	洗濯室47 (200x)	洗濯室48 (200x)	洗濯室49 (200x)	洗濯室50 (200x)	洗濯室51 (200x)	洗濯室52 (200x)	洗濯室53 (200x)	洗濯室54 (200x)	洗濯室55 (200x)	洗濯室56 (200x)	洗濯室57 (200x)	洗濯室58 (200x)	洗濯室59 (200x)	洗濯室60 (200x)	洗濯室61 (200x)	洗濯室62 (200x)	洗濯室63 (200x)	洗濯室64 (200x)	洗濯室65 (200x)	洗濯室66 (200x)	洗濯室67 (200x)	洗濯室68 (200x)	洗濯室69 (200x)	洗濯室70 (200x)	洗濯室71 (200x)	洗濯室72 (200x)	洗濯室73 (200x)	洗濯室74 (200x)	洗濯室75 (200x)	洗濯室76 (200x)	洗濯室77 (200x)	洗濯室78 (200x)	洗濯室79 (200x)	洗濯室80 (200x)	洗濯室81 (200x)	洗濯室82 (200x)	洗濯室83 (200x)	洗濯室84 (200x)	洗濯室85 (200x)	洗濯室86 (200x)	洗濯室87 (200x)	洗濯室88 (200x)	洗濯室89 (200x)	洗濯室90 (200x)	洗濯室91 (200x)	洗濯室92 (200x)	洗濯室93 (200x)	洗濯室94 (200x)	洗濯室95 (200x)	洗濯室96 (200x)	洗濯室97 (200x)	洗濯室98 (200x)	洗濯室99 (200x)	洗濯室100 (200x)
--------	-------------	------------	--------------	--------------	------------	-------------	---------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------

別紙E

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課

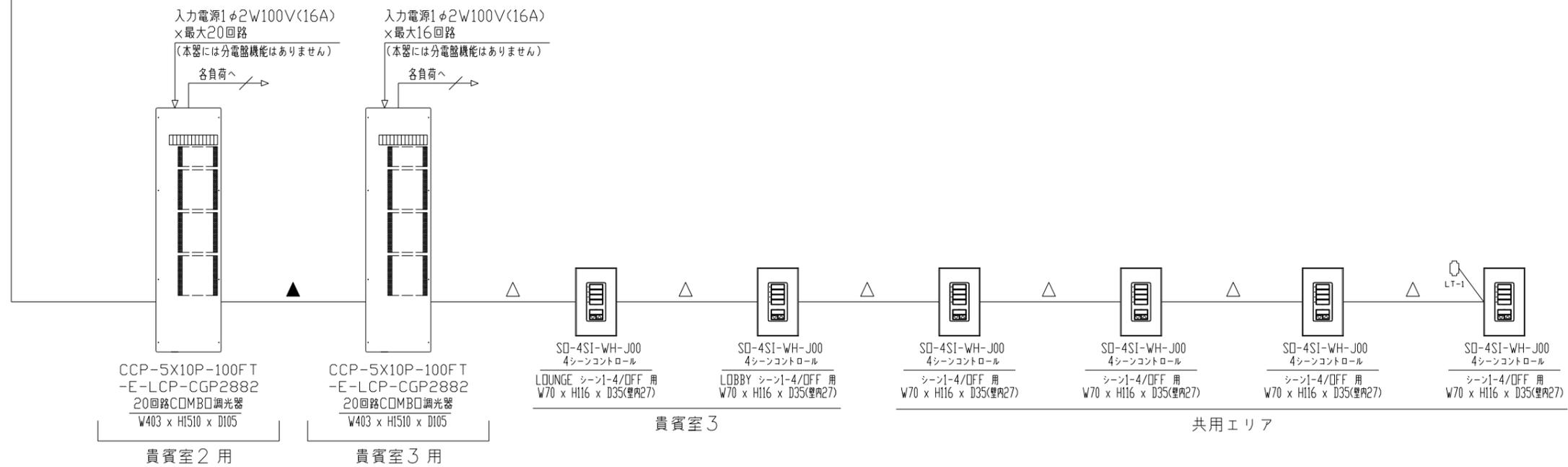
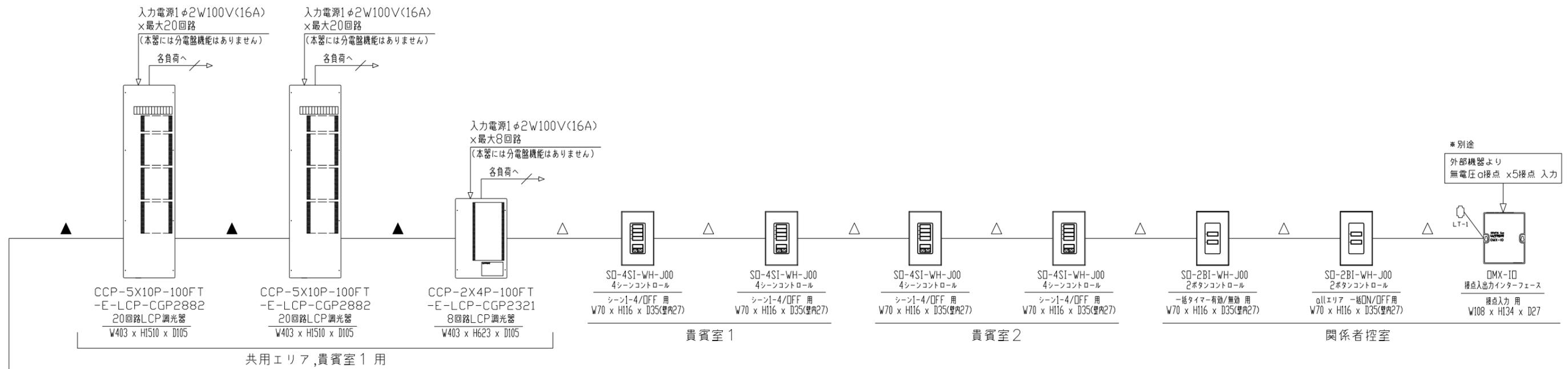
東京国際空港新貴賓室新築工事

電灯設備(電灯分岐) 1階配線図

平成29年 3月

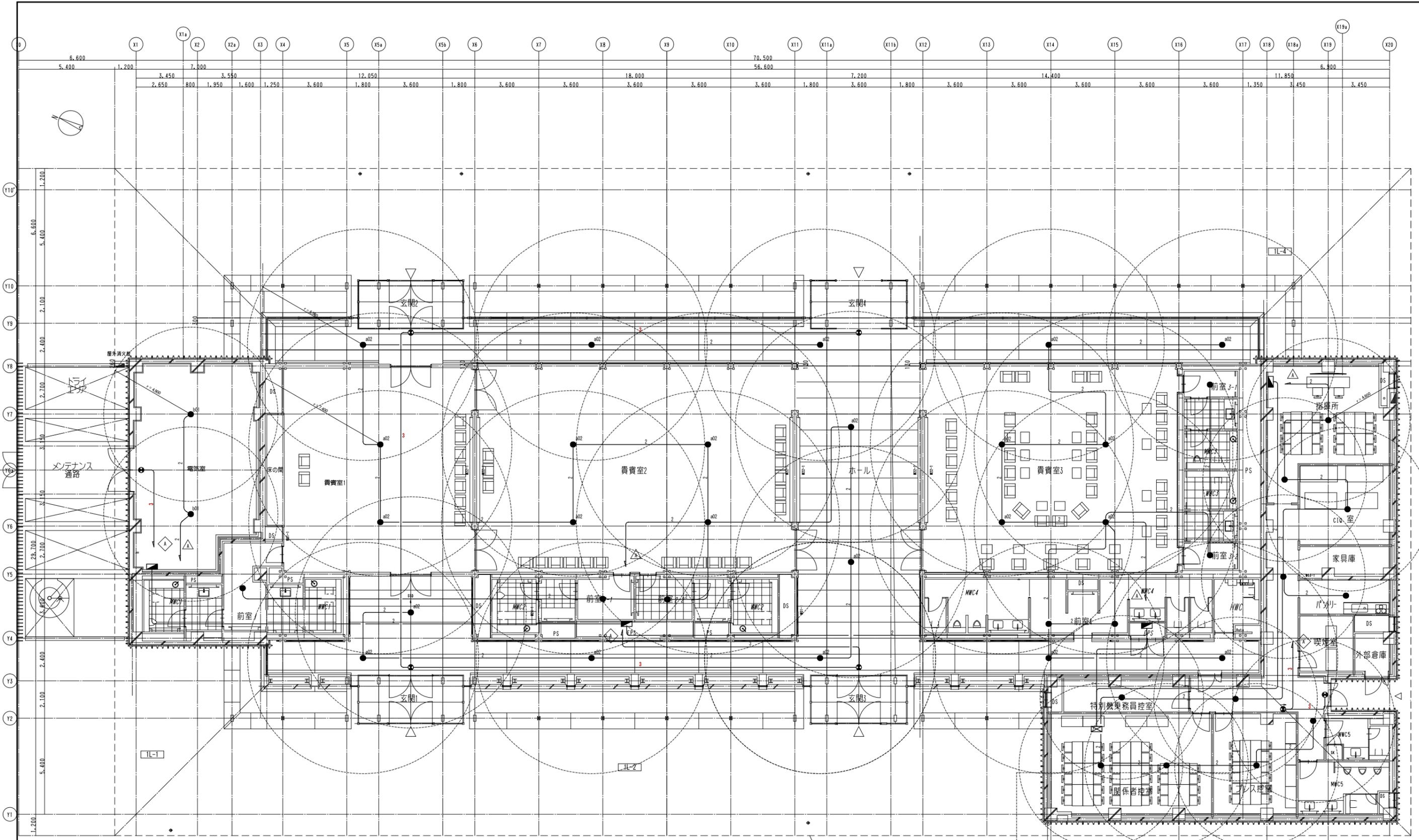
単位 mm 尺度 A1: 1/100 図番 E-07

調査員 電気設備調査職員 江波戸 義得 設計者 株式会社 梓設計 電気設備調査職員 岡本 寿 一般建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人



- 凡例(Legend):
- △ LUTRON GRX-CBL-46L(pins 1,2,3,4)
 - ▲ LUTRON GRX-CBL-46L(pins 1,3,4)
 - ▽ DMXケーブル
 - ⊥ アース Ground
 - LT-1:終端抵抗
 - (EM-EEF-2.0mm-3C x n
EM-CPEE-S 1.2mm-1P x n

* 弊社製品は相対湿度90%以下の場所に設置して下さい。
* 各リンクの配線は一筆書きとして下さい。
* LCP調光器にはメイン/分岐ブレーカは有りません。
別途分電盤が必要です。



凡例	記号	名称	備考
	■	分電盤	
	□	誘導灯信号装置	消灯用
	●	避難口誘導灯 p01	B級 BL形
	●	通路誘導灯 q02	
	●	非常照明	
	○	煙感知器	
	—	天井隠ぺい配線	
	△	回路番号	非常照明
	◇	回路番号	誘導灯

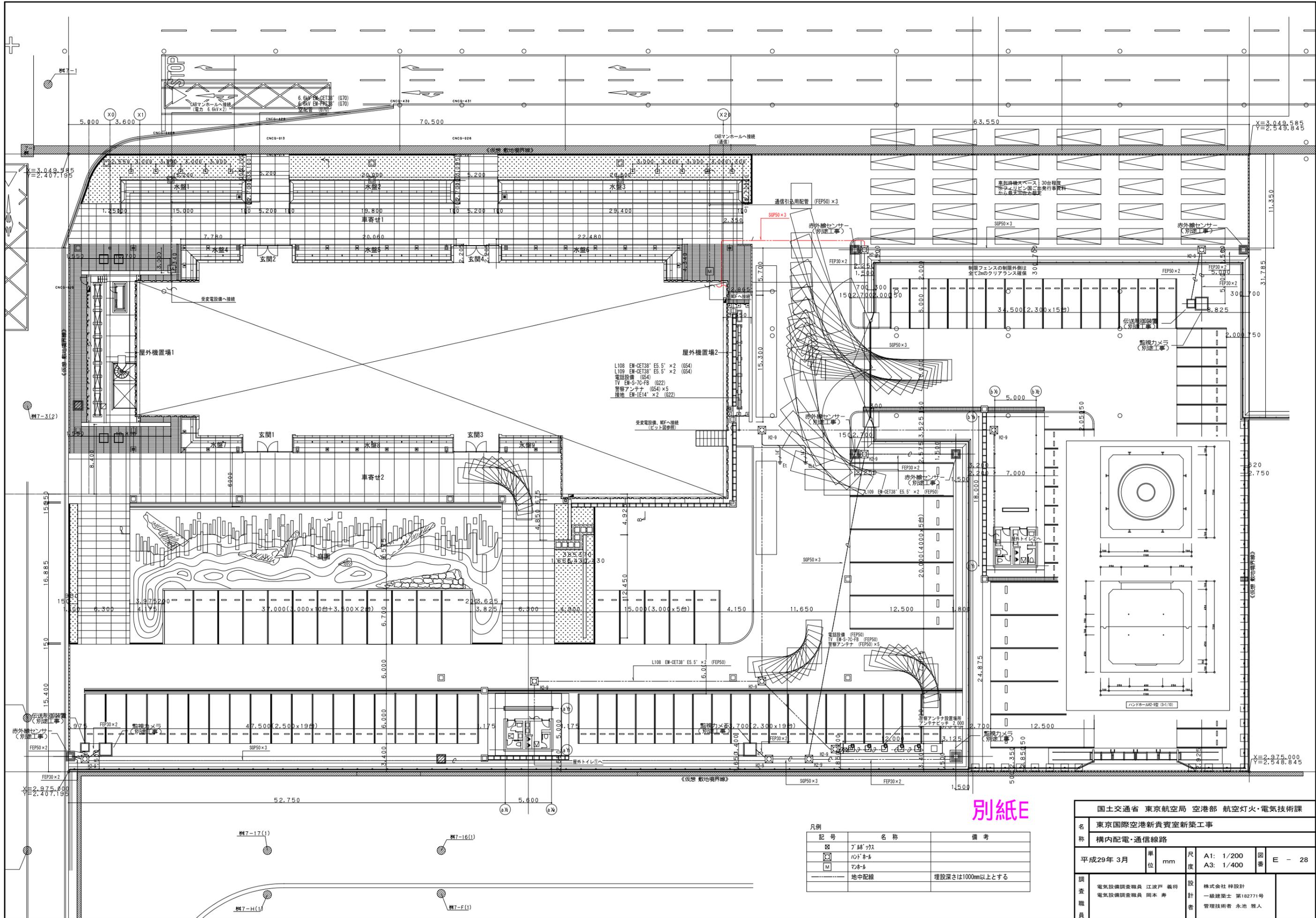
注記
 1. 特記なき配管配線は下記による。
 2. EM-EEF1.6-2C(PF16) 保護管
 3. EM-EEF1.6-3C(PF22) 保護管
 2. 特記なき非常照明はa01とする。

電灯 (非常照明誘導灯) 設備 1階配線図 S=1/100

誘導灯信号装置

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課			
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事		
名称	電灯設備 (非常照明・誘導灯) 1階配線図		
調査	平成29年 3月	単位 mm	尺度 A1: 1/100 A3: 1/200
設計	電気設備調査職員 江波戸 義得 電気設備調査職員 岡本 寿	図番 E-08	設計者 株式会社 梓設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人

別紙E



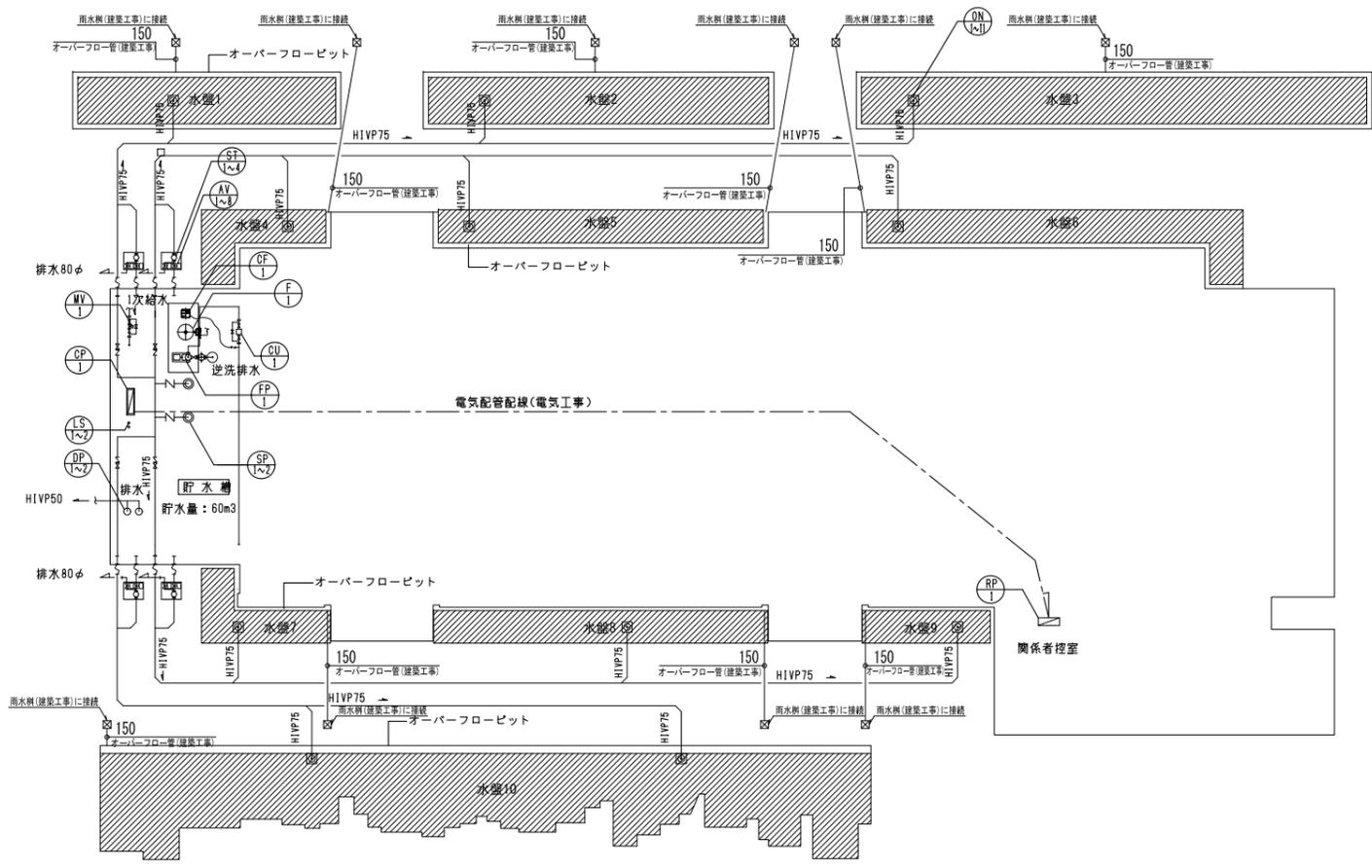
屋外機置場2
 L108 EM-CET38' E5.5' x 2 (G54)
 L109 EM-CET38' E5.5' x 2 (G54)
 電話設備 (G54)
 TV EM-S-7C-FB (G22)
 監視アンテナ (G54) x 5
 接地 EM-1E14' x 2 (G22)

凡例

記号	名称	備考
☒	フック付	
☐	ハンドホールド	
M	パネル	
---	地中配線	埋設深さは1000mm以上とする

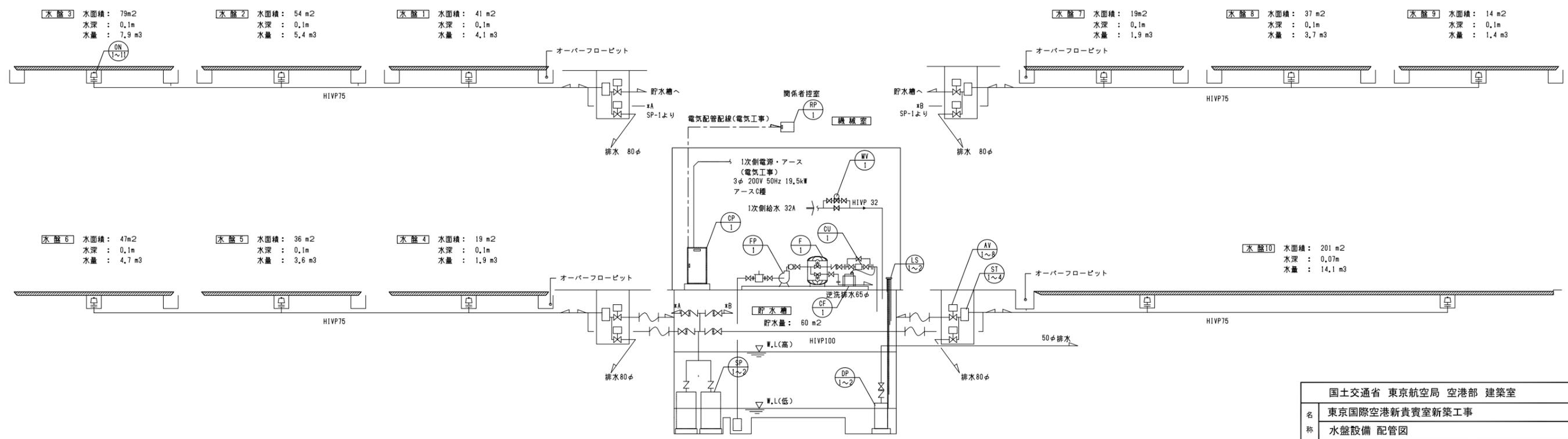
別紙E

国土交通省 東京航空局 空港部 航空灯火・電気技術課					
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事				
	構内配電・通信線路				
調査	平成29年 3月	単位 mm	尺度 A1: 1/200 A3: 1/400	図番 E - 28	
調査員	電気設備調査職員 江波戸 義博 電気設備調査職員 岡本 寿	設計者	株式会社 神設計 一級建築士 第182771号 管理技術者 永池 雅人		



水盤 総水面積： 547 m²
総水量： 48.7 m³

記号	番号	名称	数量	仕様	備考
ON	1~11	吐水(リターン)ノズル	11	80A PVC	
SP	1~2	水盤送水ポンプ	2	水中モーターポンプ 3φ 200V 50Hz 7.5kW 80φ 1.5m ³ /min	
ST	1~4	ストレーナー	4	80A SUS	
AV	1~8	水盤排水用電動弁	8	1φ 200V 80A	
FP	1	ろ過循環ポンプ	1	自吸式ポンプ 3φ 200V 50Hz 1.5 kW 65A	
F	1	自動砂式ろ過機	1	全自動砂式ろ過機 本体 FRP製 処理水量 20m ³ /H 除塵器付	
CU	1	銅イオン滅菌装置	1	60m ³ 用 1φ 100/200V	
CF	1	自動薬注装置	1	タンク: PE 120L ポンプ 1φ 200v	
LS	1~2	水位検出器	2	フロートレス式 5P	
MV	1	自動給水装置	1	電動弁 32A 1φ 200V バイパス付含む	
DP	2	貯水槽排水ポンプ	2	水中モーターポンプ 3φ 200V 50Hz 0.75kW 50φ	
CP	1	制御盤	1	屋内自立型 700×1900H×250D 3φ 200V 50Hz 12kW 19.5kW アースC種	
RP	1	リモート操作盤	1	屋内壁掛型 400×600×180D	



国土交通省 東京航空局 空港部 建築室					
名称	東京国際空港新貴賓室新築工事				
名称	水盤設備 配管図				
平成30年 3月	単位	mm	尺度	A1: 1/	図番
				A3: 1/	M- 12
調査員	機械設備調査職員 小林 輝海	設計者	株式会社 梓設計		
	機械設備調査職員 千葉 智仁		一級建築士 第182771号		
			管理技術者 永池 雅人		

別紙M